株式会社エス・エム・エス（2175 東証プライム市場）
2027年3月期 第1四半期 決算及び会社説明資料

2026年7月29日（水）

目次

01	2027年3月期 第1四半期　連結決算	p.5
02	企業価値向上委員会について	p.15
03	参考資料	p.21
	ミッション・事業概況	p.22
	Appendix	p.76

© SMS Co., Ltd.

当社の事業に関連する用語集・各種指標の定義

名称	概要	関連するセグメント
人材紹介	事業者と求職者の間に第三者であるエージェントが介在し、両者のマッチングを行うビジネスモデル	キャリア
CP（キャリアパートナー）	人材紹介事業において、マッチングを担うエージェントのこと	キャリア
生産性	CP1人当たりの売上高。人材紹介の各四半期売上高を期中平均のCP数で割って算出	キャリア
DR（ダイレクトリクルーティング）	事業者が人的な仲介を通さず、採用プラットフォームを通じて求職者と直接コンタクトを取り、双方向のコミュニケーションを通じてマッチングを図る採用手法	キャリア
カイポケ	介護/障害福祉[*1]事業所向けのクラウド型の経営支援ソフト（SaaS）	介護・障害福祉経営支援
かべなしクラウド	障害福祉事業所向けのクラウド型の経営支援ソフト（SaaS）	介護・障害福祉経営支援
ARPA	Average Revenue Per Account：1法人当たりの平均売上高。 四半期経常収益÷四半期末法人数にて算定	介護・障害福祉経営支援
ARR	Annual Recurring Revenue：年間経常収益。カイポケやかべなしクラウドの各四半期末時点の月間経常収益×12にて算定	介護・障害福祉経営支援
EBITDA	営業利益に減価償却費及びのれん償却費を足して算定	—

1. 当社は、日本が批准している「障害者権利条約」に基づき、「障害」は個人ではなく社会の側にあるとする「社会モデル」の考え方に立脚している。表記に際しては、受け取り手の心情に配慮し場合によって「障害」「障がい」を使い分ける方針であるものの、社会の側にある障害は排していくべきものとの考えから、本資料内においては基本的に「障害」と表記する

© SMS Co., Ltd.

ハイライト

2027年3月期 第1四半期実績

- 売上高：202億円（前年同期比+8%）、EBITDA：51億円（同+10%）、営業利益：43億円（同+19%）
- 2026年3月期の海外事業における無形固定資産の減損に伴い償却費が減少したことで、営業利益は大きく成長
- キャリア：売上高+8%・EBITDA+10%と順調に成長。人材紹介はAI活用によるマッチング改善が寄与
- 介護・障害福祉経営支援：売上高+9%・EBITDA+6%。カイポケ・かべなしクラウドの会員数が順調に増加
- 海外：売上高+4%。収益構造改善によりEBITDAの損失幅が縮小
- 第1四半期より、セグメント別のEBITDA・営業利益、キャリア／介護・障害福祉経営支援の主要KPI（四半期ごとのCP数、生産性、ARPA及びARRなど）の開示を開始

企業価値向上委員会

- 7月に企業価値向上委員会を設置
- 4つのワーキンググループ（WG）でテーマごとに検討を進める
  1. 事業ポートフォリオWG
  2. 成長戦略WG
  3. 経営体制・ガバナンスWG
  4. IR・資本市場WG
- 中期経営計画は遅くとも2027年3月期決算発表（2027年4月末頃）までに開示。第2四半期・第3四半期決算発表で検討状況を報告

© SMS Co., Ltd.

01

2027年3月期 第1四半期　連結決算

© SMS Co., Ltd.

2027年3月期 第1四半期　連結決算

- 当初計画通り前年同期比で増収、経常利益までは増益を達成[*1]
- 第2四半期以降も積極的な人材採用等の投資を実施予定であり、通期では期初計画通りの利益着地を見込む（2027年3月期通期の計画上のEBITDA成長率は△9%、営業利益は前年水準）

（単位：百万円）	2026年3月期 第1四半期実績	2027年3月期 第1四半期実績	前年同期比
売上高	18,672	**20,212**	+8%
EBITDA	4,738	**5,190**	+10%
営業利益	3,616	**4,308**	+19%
経常利益	4,785	**5,432**	+14%
当期純利益	3,940	**3,728**	△5%

1. 当期純利益は主に海外子会社に係る税金費用の四半期要因により減益

© SMS Co., Ltd.

参考：主な費用

- 2026年3月期の海外事業における無形固定資産の減損に伴い償却費が減少
- 「その他」費用の増加は、キャリアセグメント、介護・障害福祉経営支援セグメントでの採用費増等が主要因

（単位：百万円）	2026年3月期 第1四半期実績	2027年3月期 第1四半期実績	前年同期比
原価	1,736	**1,809**	+4%
販売費及び一般管理費	13,319	**14,094**	+6%
人件費*1	5,894	**6,309**	+7%
広告宣伝費	3,620	**3,789**	+5%
償却費*2 *3	1,071	**823**	△23%
その他	2,733	**3,171**	+16%

1. 給料手当、法定福利費、賞与引当金繰入額の合計額
2. 減価償却費、のれん償却費の合計額
3. 海外事業において、一部の減価償却費（2026年3月期第1四半期：50百万円、2027年3月期第1四半期：59百万円）が原価として認識されている。本表における償却費には当該金額は含まれておらず、原価に含めて表示を行っている。一方、pp.6・13・14記載のEBITDAの算定においては、当該金額を減価償却費に含めて算定している。

© SMS Co., Ltd.

2027年3月期 第1四半期　キャリアセグメント

- 事業者の強い採用意欲を背景に、売上高・EBITDAともに成長
- 人材紹介においては、AI活用等によるマッチングプロセスの改善が引き続き寄与し売上高は順調に成長した一方、その他領域において事業撤退・縮小に伴うマイナス影響があった
- 例年と比較してCP採用時期を分散することやDRにおける採用強化により、第2四半期以降のEBITDA成長は限定的となる見込み（2027年3月期通期の計画上のEBITDA成長率は△3%）

（単位：百万円）		2026年3月期 第1四半期実績	2027年3月期 第1四半期実績	前年同期比
売上高		13,070	**14,110**	+8%
	うち人材紹介	12,341	**13,403**	+9%
	うちDR・その他	729	**707**	△3%
EBITDA		4,823	**5,310**	+10%

© SMS Co., Ltd.

主要KPI：CP数及び生産性の推移

- 中長期の成長を見据え、前年同期比で積極的な採用を実施[*1]。CP数全体に占める新人の割合が高まる局面ながら、生産性[*2]は前年同期を上回って推移

四半期平均CP数

1,650人 (YoY +6%)

CP採用数

225人 (YoY +50人)

生産性

8.1百万円 (YoY +2%)

	FY22				FY23				FY24				FY25				FY26
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
四半期平均CP数（人）	990	1,010	1,040	1,050	1,190	1,260	1,370	1,350	1,540	1,590	1,550	1,500	1,550	1,550	1,540	1,510	1,650
CP採用数（人）	165	90	65	50	230	125	95	10	350	25	5	5	175	30	30	15	225
生産性（百万円）	8.5	5.9	4.7	5.8	8.7	5.4	4.2	5.3	7.5	4.9	4.1	5.1	8.0	5.1	4.3	5.6	8.1

1. 看護師領域では求職者集客が好調であり、介護／障害福祉、保育領域等でも今後の成長余地が大きいと見ている。こうした成長機会を確実に取り込むとともに、AI化を見据えて求職者・事業者双方の行動やニーズに関するデータや非公開の職場情報を蓄積する観点から、足元ではCPの増員を重要施策と位置づけている。
2. 人材紹介の各四半期売上高を期中平均のCP数で割って算出

© SMS Co., Ltd.

トピック：サービス品質に対する事業者評価 ― 全4部門で選出

- 厚生労働省委託事業として実施された、求人事業者向けサービス品質調査（満足度調査）*1において、「総合」及び分類別3項目の全4部門で上位3社の一つに選出
- 人材紹介数と高いサービス品質を同時に実現している点が、顧客である求人事業者からの評価として裏付けられた
- 良質なマッチングと定着支援は、求人事業者との長期的な信頼関係と当社の競争優位の源泉。今後も品質を追求し、医療・介護／障害福祉・保育領域の人手不足解消に貢献していく

(1)総合

事業所名*2	認定分野	令和7年度就職者数
株式会社エス・エム・エス	**医療、介護、保育**	**50,641人**
株式会社クイック	医療、介護	10,905人
レバウェル株式会社	医療、介護、保育	28,161人

(2)分類別①（担当者との連携・信頼関係）

事業所名*2	認定分野	令和7年度就職者数
株式会社エス・エム・エス	**医療、介護、保育**	**50,641人**
株式会社クイック	医療、介護	10,905人
ディップ株式会社	医療、介護、保育	2,259人

(3)分類別②（マッチング・定着）

事業所名*2	認定分野	令和7年度就職者数
株式会社エス・エム・エス	**医療、介護、保育**	**50,641人**
株式会社クイック	医療、介護	10,905人
レバウェル株式会社	医療、介護、保育	28,161人

(4)分類別③（紹介事業者に対する信頼・納得感）

事業所名*2	認定分野	令和7年度就職者数
株式会社エス・エム・エス	**医療、介護、保育**	**50,641人**
株式会社クイック	医療、介護	10,905人
株式会社マイナビ	医療、介護、保育	31,662人

1. 厚生労働省委託事業「医療・介護・保育分野における有料職業紹介『適正認定事業者』のサービス品質に関する調査」。求人事業者を対象とした満足度調査（令和7年度は試行的公表）
https://www.jesra.or.jp/tekiseinintei/outline/customer_survey/
2. 事業所名は五十音順で記載

© SMS Co., Ltd.

2027年3月期 第1四半期　介護・障害福祉経営支援セグメント

- M&Aマッチング事業の成約時期ずれが一部影響したものの、カイポケ及びかべなしクラウドの会員数増加、ファクタリングやタブレット・スマートフォン等の有料オプションサービスの利用拡大により、売上高は順調に成長
- かべなしクラウドの営業体制・マーケティング強化等により、EBITDAの成長は限定的
- カイポケコネクトの利用が浸透。介護ソフトの機能高度化、AI機能の他社協業などにより提供価値拡大を推進

	（単位：百万円）	2026年3月期 第1四半期実績	2027年3月期 第1四半期実績	前年同期比
介護・障害福祉経営支援	売上高	3,175	**3,474**	+9%
	EBITDA	1,323	**1,401**	+6%

© SMS Co., Ltd.

主要KPI： 会員数、ARPA及びARRの推移

- 「カイポケ」「かべなしクラウド」の顧客法人数は前年同期比で8%増、ARPA[*1]も同4%増と、順調に拡大
- ARR[*2]は前年同期比で13%増となり、135億円に

四半期末顧客法人数

27,600 (YoY +8%)

四半期末顧客事業所数[*3]

62,300 (YoY +9%)

ARPA

121千円 (YoY +4%)

ARR

135億円 (YoY +13%)

	FY22				FY23				FY24				FY25				FY26
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
四半期末顧客法人数	19,250	19,650	20,100	20,650	21,150	21,700	22,150	22,850	23,500	23,950	24,400	24,900	25,450	25,900	26,350	27,000	27,600
四半期末顧客事業所数	41,700	42,850	43,850	45,200	46,300	47,500	48,800	50,400	51,950	53,100	54,350	55,550	56,900	58,100	59,300	60,800	62,300
ARPA（千円）	98	101	101	101	103	105	107	109	111	113	114	115	116	118	119	121	121
ARR（億円）	76	80	82	85	89	92	96	103	106	109	113	116	120	123	127	135	135

1. 四半期経常収益÷四半期末法人数にて算定
2. カイポケやかべなしクラウドの各四半期末時点の月間経常収益×12にて算定
3. 事業所数：介護サービス・障害福祉サービスを単位としてカウントする

© SMS Co., Ltd.

2027年3月期 第1四半期[*1]　海外セグメント

- メディカルプラットフォーム事業においては一部顧客のマーケティング予算縮小等が、グローバルキャリア事業においては中東情勢の悪化が引き続き影響したものの、前年同期比では成長
- 収益構造改善に取り組みながら、企業価値向上委員会[*2]において海外事業の今後の方向性について検討を進めていく

	（単位：百万円）	2026年3月期 第1四半期実績	2027年3月期 第1四半期実績	前年同期比
海外	売上高	1,535	**1,595**	+4%
	EBITDA	△276	**△208**	—

1. MIMSグループは3か月遅れの連結であるため、1-3月の業績が第1四半期の連結業績に反映される（詳細はp.75参照）
2. 企業価値向上委員会については、p.15以降を参照

© SMS Co., Ltd.

参考：セグメント情報

（単位：百万円）	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	**18,672**	**20,212**	**+8%**
キャリア	13,070	14,110	+8%
介護・障害福祉経営支援	3,175	3,474	+9%
海外	1,535	1,595	+4%
その他	890	1,031	+16%
EBITDA	**4,738**	**5,190**	**+10%**
キャリア	4,823	5,310	+10%
介護・障害福祉経営支援	1,323	1,401	+6%
海外	△276	△208	—
その他	△68	△74	—
調整額	△1,063	△1,238	—
セグメント利益	**3,616**	**4,308**	**+19%**
キャリア	4,550	5,012	+10%
介護・障害福祉経営支援	1,001	1,026	+2%
海外	△688	△320	—
その他	△111	△116	—
調整額	△1,135	△1,294	—

© SMS Co., Ltd.

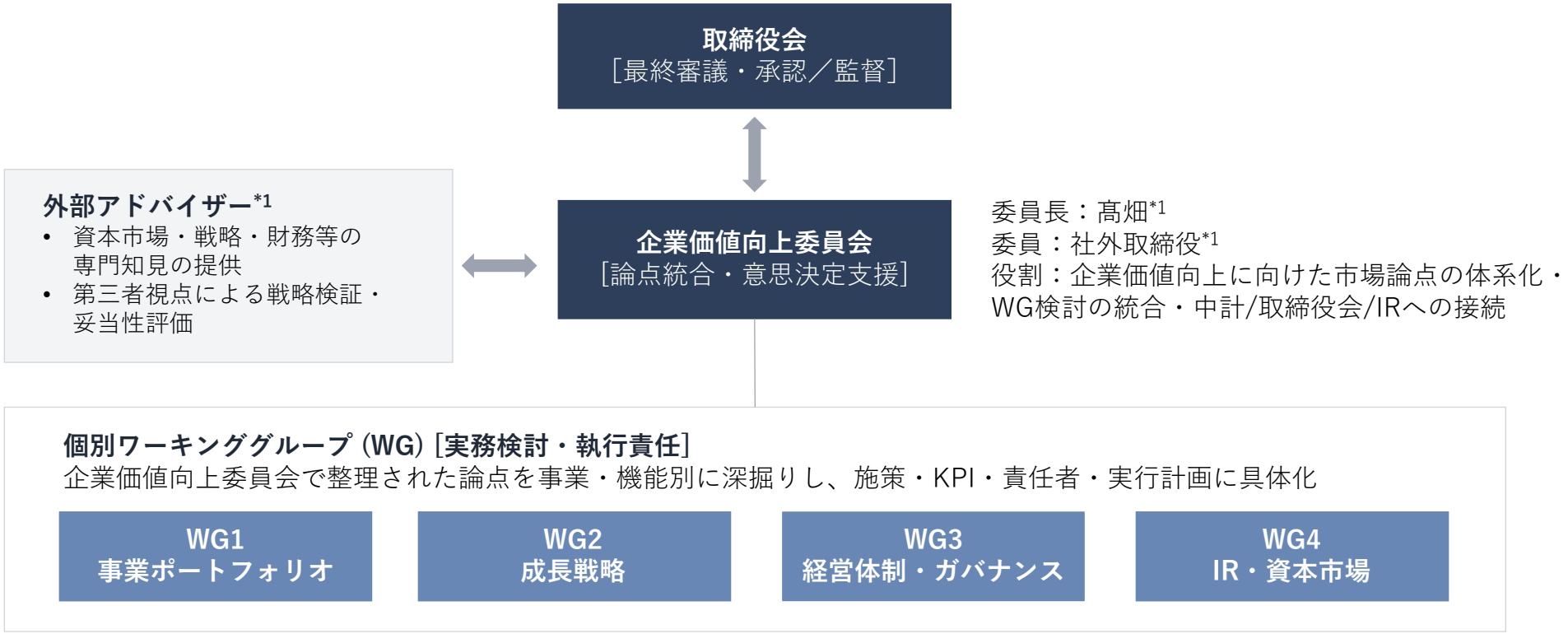
02

企業価値向上委員会について

© SMS Co., Ltd.

企業価値向上委員会

- 社内取締役・社外取締役で構成される企業価値向上委員会を7月に設置
- 当委員会は、株主・投資家からの指摘を企業価値向上に向けた経営課題へと整理し、4つのワーキンググループでの検討を中期経営計画・取締役会・IRへとつなぐ、論点統合機能を担う



1. 委員長は経営執行の最終責任者として議論を主導し、検討の客観性は社外取締役と外部アドバイザーが担保する

© SMS Co., Ltd.

ワーキンググループの構成

- **「事業ポートフォリオ」「成長戦略」「経営体制・ガバナンス」「IR・資本市場」の4つのワーキンググループにおいて、主要な経営課題を検討**
- **各ワーキンググループでの検討にあたっては、外部アドバイザーの起用等により客観的な検証を実施し、企業価値向上に資する意思決定を実現していく**

WG1：事業ポートフォリオ

課題：企業価値最大化に向け、資本・人材を投下する事業と見直す事業の峻別と再配分

取組：
- 海外事業の撤退・縮小の是非を最優先課題として判断
- 事業PF評価フレームの設計
- 継続・撤退・資源再配分の基準・方針の明確化
- 投資規律と運用プロセスの制度化

WG2：成長戦略

課題：中期経営計画達成に向けた、キャリアのAI活用、DR・SaaSの売上高・利益成長戦略の具体化と実行

取組：
- キャリア事業のAI化による生産性・収益性改善
- DR領域におけるドミナント戦略を通じた勝ち筋の確立と集客効率の改善
- SaaSにおける提供価値に合わせた価格改定や障害福祉領域への拡張による収益最大化
- キャリア・SaaSの統合成長戦略の構築

WG3：経営体制・ガバナンス

課題：経営全般の意思決定において、客観性と規律をもって実行し切る経営体制とガバナンスの構築

取組：
- 持続的な企業価値向上を担う経営執行体制（経営執行の役割・権限、意思決定プロセス）の設計
- 取締役選任プロセスの高度化

WG4：IR・資本市場

課題：資本効率・還元・開示の再設計等を通じた、投資家の評価軸及び企業価値評価の再構築

取組：
- 最適資本構成と資本配分方針の定義
- 株主還元方針の設計
- IR・開示高度化による市場評価の再構築
- エンゲージメントの強化

© SMS Co., Ltd.

今後のスケジュール

- 聖域なき改革を順次実行予定。また、ロードマップについては、企業価値向上委員会での検証を経たうえで、そのアップデートにあたる中期経営計画を遅くとも2027年3月期決算発表（2027年4月末頃）までに開示予定

2026年4月28日：企業価値最大化に向けたロードマップの開示

6月19日：定時株主総会における取締役選任を経て、新たな取締役会体制がスタート

7月15日：第1回企業価値向上委員会の開催[*1]

- 企業価値向上委員会で継続的な討議を実施
- 効果が検証できた施策は順次実行を予定

2027年3月期第2・第3四半期決算開示日：
企業価値向上委員会での検討状況の開示（活動の経過報告）

遅くとも2027年3月期決算開示日（2027年4月末頃）まで：
企業価値向上委員会の検証結果・中期経営計画の開示

以降、中期経営計画の施策を実行しつつ、持続的な企業価値向上を実現するため、必要に応じて中期経営計画を更新

1. 企業価値向上委員会は月次で開催予定

© SMS Co., Ltd.

企業価値向上に向けた取組の進捗状況

- **「事業ポートフォリオ」「経営体制・ガバナンス」「IR・資本市場」の3領域で、企業価値向上に向けた取組が着実に進捗**

事業ポートフォリオ（WG1）領域：第1四半期に複数事業を撤退済・撤退を決定

- 高校生・看護学生向け奨学金情報「看護奨学金Navi」
- 自治体向け調査・計画策定・予防事業「データを活用した介護・フレイル予防」
- 治療家向けDR「JOB NOTE」

経営体制・ガバナンス（WG3）領域：取締役会の刷新

- 6月の定時株主総会において、4名の新任社外取締役を含む取締役6名が選任された
- 上場企業の経営経験、SaaS事業・データ活用や資本市場への知見・経験を持つ取締役が加わり、より企業価値向上に向けた実効性のあるモニタリング体制を実現

IR・資本市場（WG4）領域：開示の充実

- 2027年3月期第1四半期よりセグメント開示、主要事業のKPIについての開示を開始
- 今後企業価値向上委員会での検討を経て、より一層株主・投資家の理解を深めるIRコミュニケーションを進める

© SMS Co., Ltd.

企業価値向上委員会における第2四半期の検討・実施事項（抜粋）

事業ポートフォリオ（WG1）領域：事業評価軸の確定

- 事業評価フレームの設計及び高度化：WACC／ROIC・評価軸・ハードルの決定
- 既存・新規事業の評価項目・評価プロセス・意思決定フローの決定
- 海外事業の撤退・縮小の是非を最優先課題として判断

成長戦略（WG2）領域：各事業の成長戦略の整備

- キャリア及び介護・障害福祉経営支援セグメントにおける成長戦略の精緻化
- キャリア事業において、外国人労働者の人材紹介開始、スポットワーク事業への参入検討

経営体制・ガバナンス（WG3）領域：CFO就任、社内執行体制の在り方を検討

- 8月のCFO就任を契機とし、コーポレート部門の組織再編を予定
- 事業部門を含めた社内執行体制の在り方も検討

IR・資本市場（WG4）領域：資本市場との対話を踏まえ、開示とコミュニケーションを拡充

- 機関投資家へのアンケートを実施し、その結果を取り入れ、開示やエンゲージメントを強化
- 当社の事業成長の理解に資するKPIの開示拡充
- キャピタルアロケーション、最適資本構成、株主還元の方針についての検討
- 各WGの取組進捗について、第2四半期決算発表時に開示予定

© SMS Co., Ltd.

03 参考資料

© SMS Co., Ltd.

ミッション・事業概況

© SMS Co., Ltd.

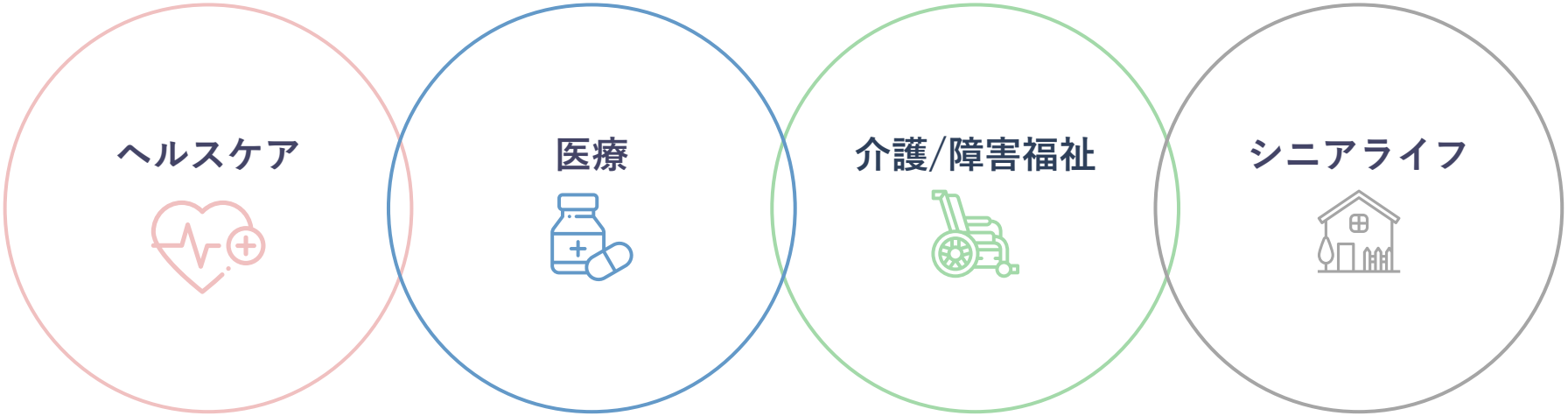
グループミッション

高齢社会に適した情報インフラを構築することで
人々の生活の質を向上し、社会に貢献し続ける

© SMS Co., Ltd.

高齢社会

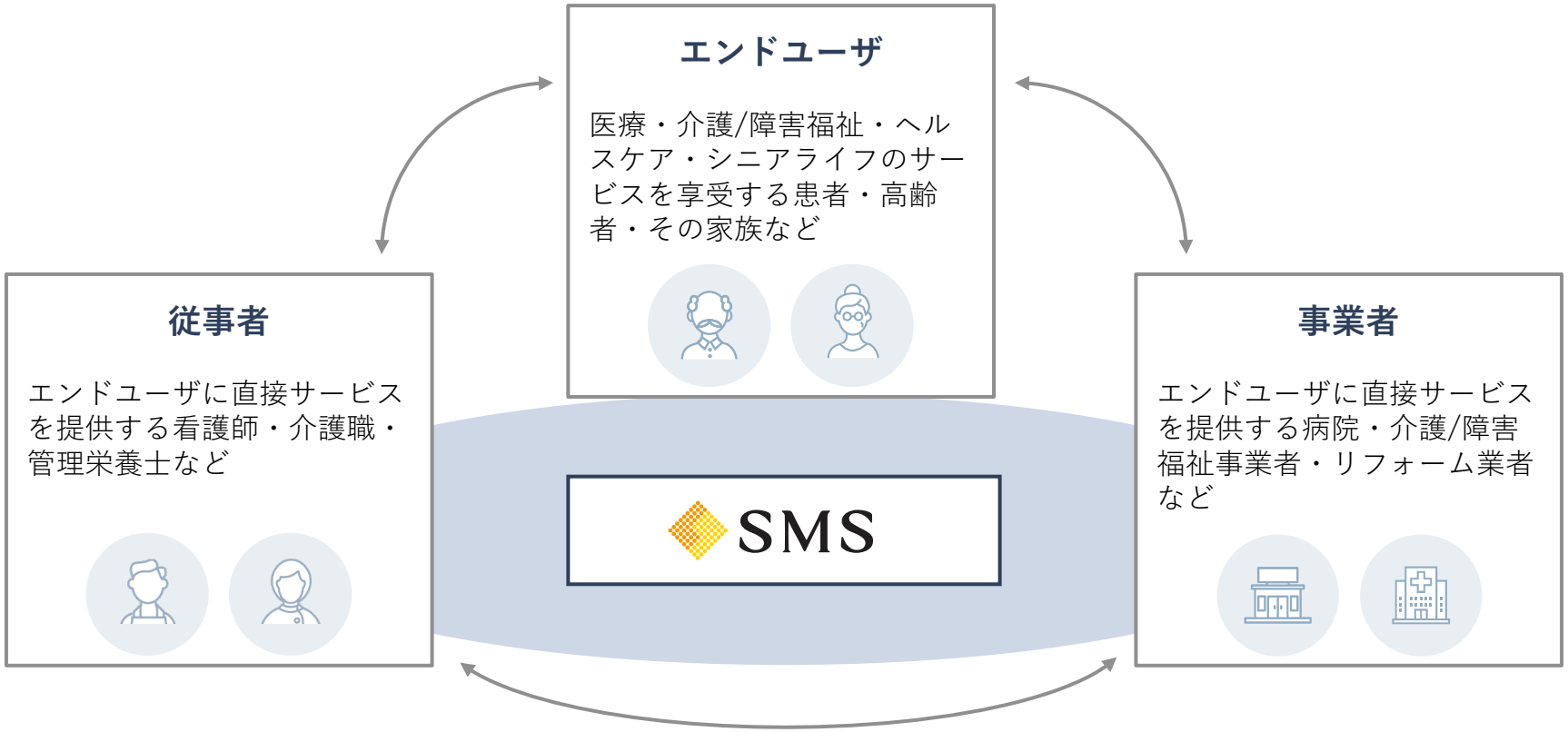
医療・介護/障害福祉・ヘルスケア・シニアライフを高齢社会における領域として定義



© SMS Co., Ltd.

情報インフラ

患者・高齢者やその家族などの「エンドユーザ」、エンドユーザにサービスを提供する看護師や介護職などの「従事者」、病院や介護/障害福祉事業者などの「事業者」を価値提供先として捉え、これらの価値提供先をつなぐプラットフォームを情報インフラと定義



© SMS Co., Ltd.

事業領域

- 高齢社会に求められる4つの領域と、3つの価値提供先を踏まえて、事業領域を設定
- それぞれの事業領域で事業を開発・育成していくことで情報インフラを構築

	ヘルスケア	医療	介護/障害福祉	シニアライフ
従事者				
事業者		事業領域		
エンドユーザ				

© SMS Co., Ltd.

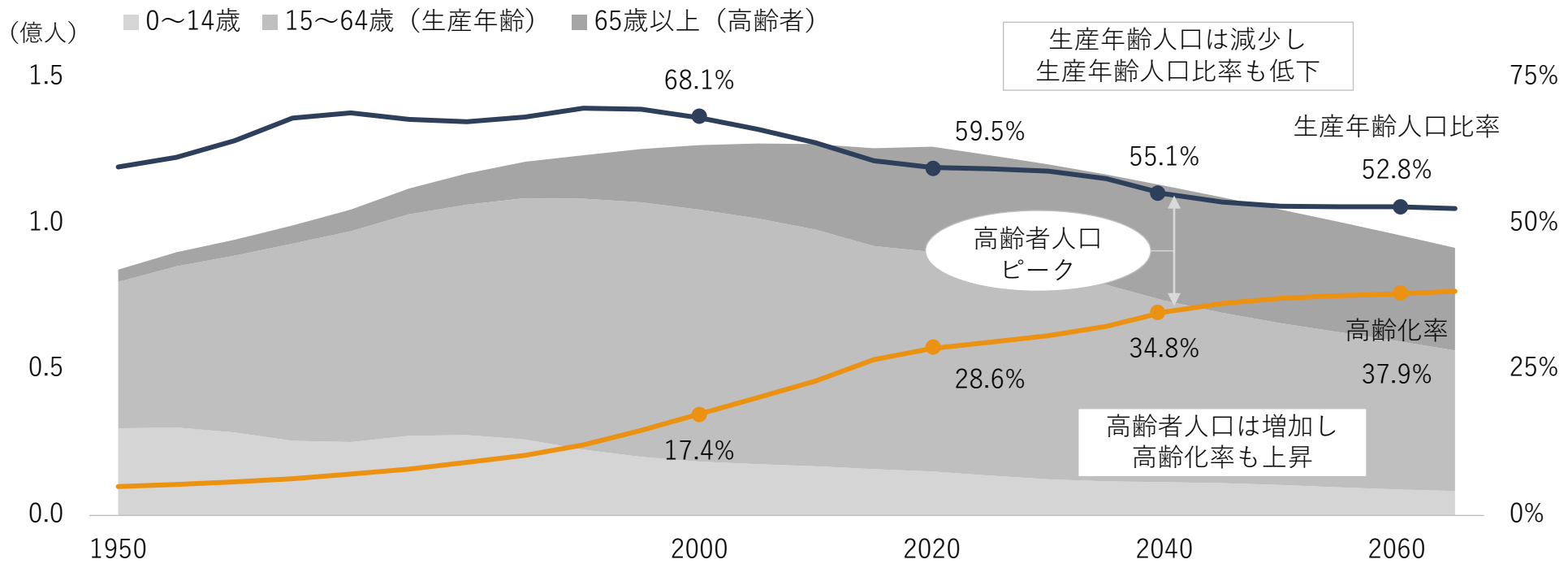
高齢社会の社会課題とその解決に向けた取組

© SMS Co., Ltd.

未曽有の少子高齢化・人口減少時代が到来

- 日本では、急速な少子高齢化と人口減少が同時に進行
- 高齢者人口がピークに近づく2040年には、高齢化率は約35%に
- 生産年齢人口は減少を続け、人口構成比は2040年には55%近くにまで低下

日本の人口推移*1



1. 総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」

© SMS Co., Ltd.

高齢社会が直面する「3つの課題」

- **少子高齢化・人口減少に伴い、高齢社会は3つの課題に直面**
- **高齢社会における人々の生活の質向上のためには、これらの課題を解決することが必要**

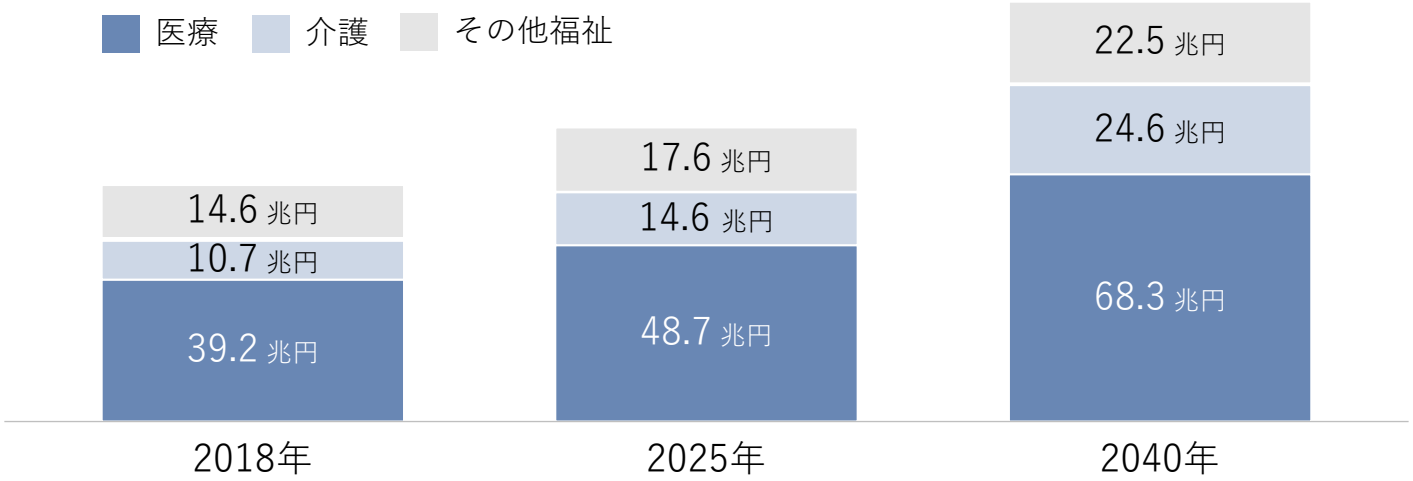
課題1	質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に
課題2	現役世代の負担がより深刻に
課題3	高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に

© SMS Co., Ltd.

課題1. 質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に

高齢化に伴い医療・介護/障害福祉の需要が増大する中、生産年齢人口の減少により、それを担う医療・介護従事者の不足が深刻化し、質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に

医療・介護等社会保障費推移予測*1



看護師の必要数*2（2018年比）

+17万人 → +32万人

介護職の必要数*3（2022年比）

+25万人*4 → +57万人

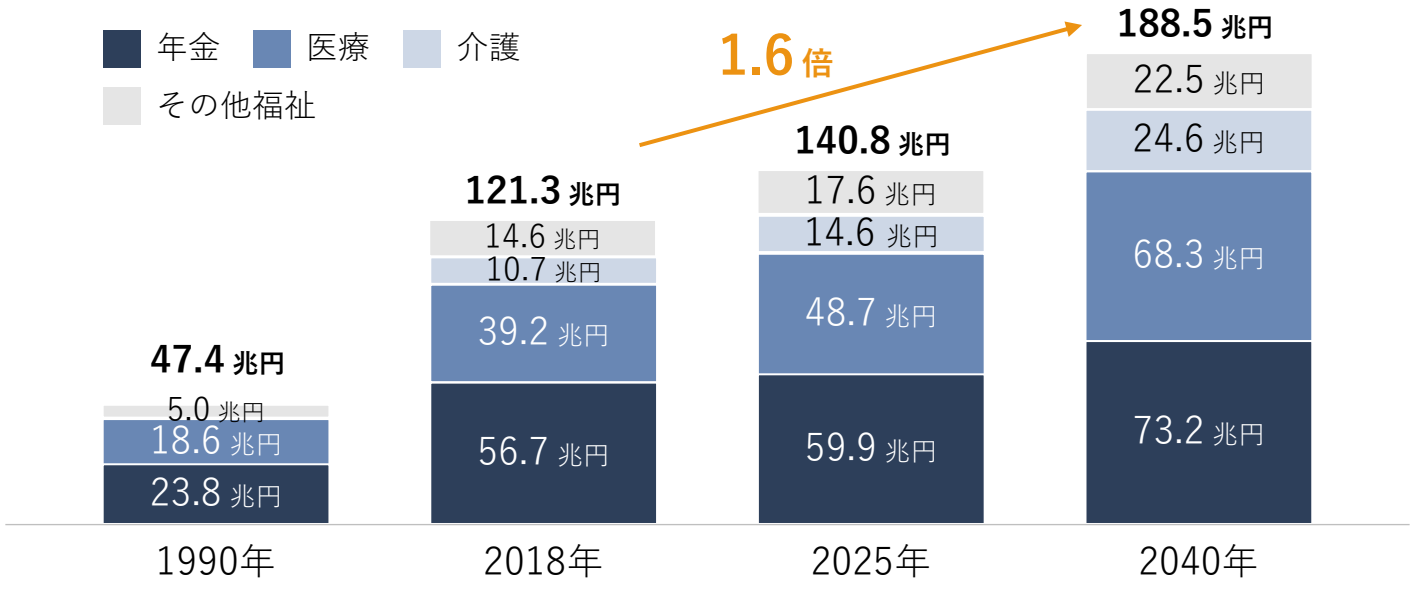
1. 内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」
2. 厚生労働省「看護師等（看護職員）の確保を巡る状況」
3. 厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」
4. 2026年時点の必要数

© SMS Co., Ltd.

課題2. 現役世代の負担がより深刻に

高齢化に伴い年金・医療・介護等の社会保障費が増大する中、生産年齢人口の減少に伴う支え手不足により、現役世代の負担が深刻に

年金・医療・介護等社会保障費推移予測*1



高齢者1人に対する生産年齢人口数*2

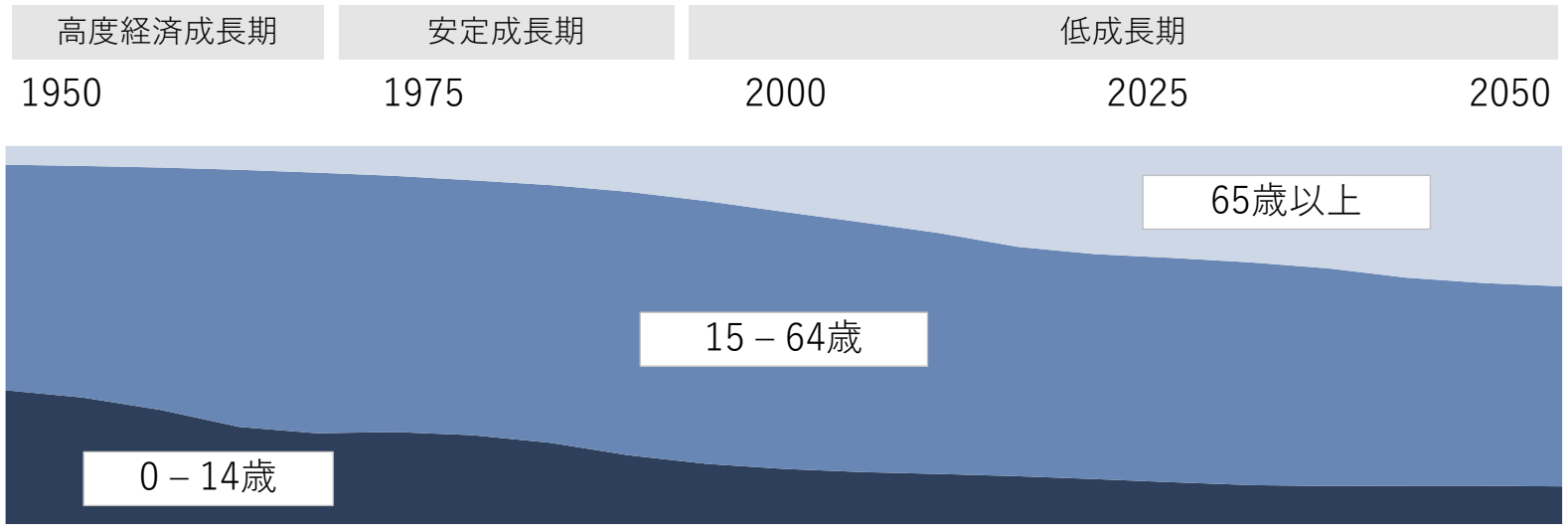
1. 厚生労働省「社会保障給付費の推移」、内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」
2. 総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」をもとに当社作成

© SMS Co., Ltd.

課題3. 高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に

- 高齢化に伴い社会で必要とされるサービスが変化し需要が拡大する一方、高齢社会の生活にまつわる情報は質・量ともに不足しており、また、整理された形で提供されていない
- 加えて、労働力不足により、高齢社会で求められるサービス供給そのものが不足し、高齢者やその家族が困りごとを解決することが困難に

人口における年齢構成比*1



必要とされるサービス

1. 総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」

© SMS Co., Ltd.

社会課題に対する解決の方向性

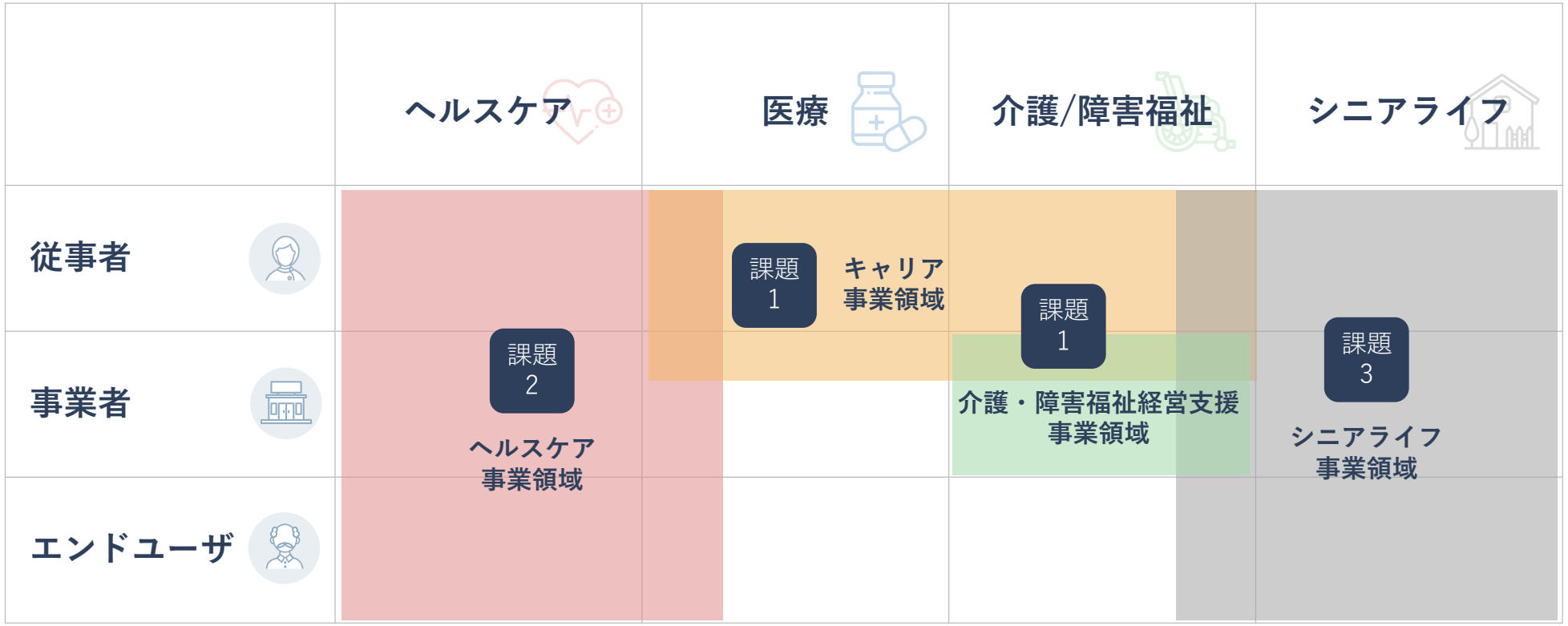
高齢社会が直面する3つの課題に対し、具体的な解決の方向性を定め、情報インフラを構築することで社会課題の解決に貢献

	高齢社会の社会課題	解決の方向性
課題1	質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に	• 医療・介護/障害福祉の人手不足と偏在の解消 • 医療・介護/障害福祉事業者の経営改善
課題2	現役世代の負担がより深刻に	• 健康な労働力人口の増加
課題3	高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に	• 多様な選択肢と質の高い意思決定情報の提供

© SMS Co., Ltd.

戦略的事業領域

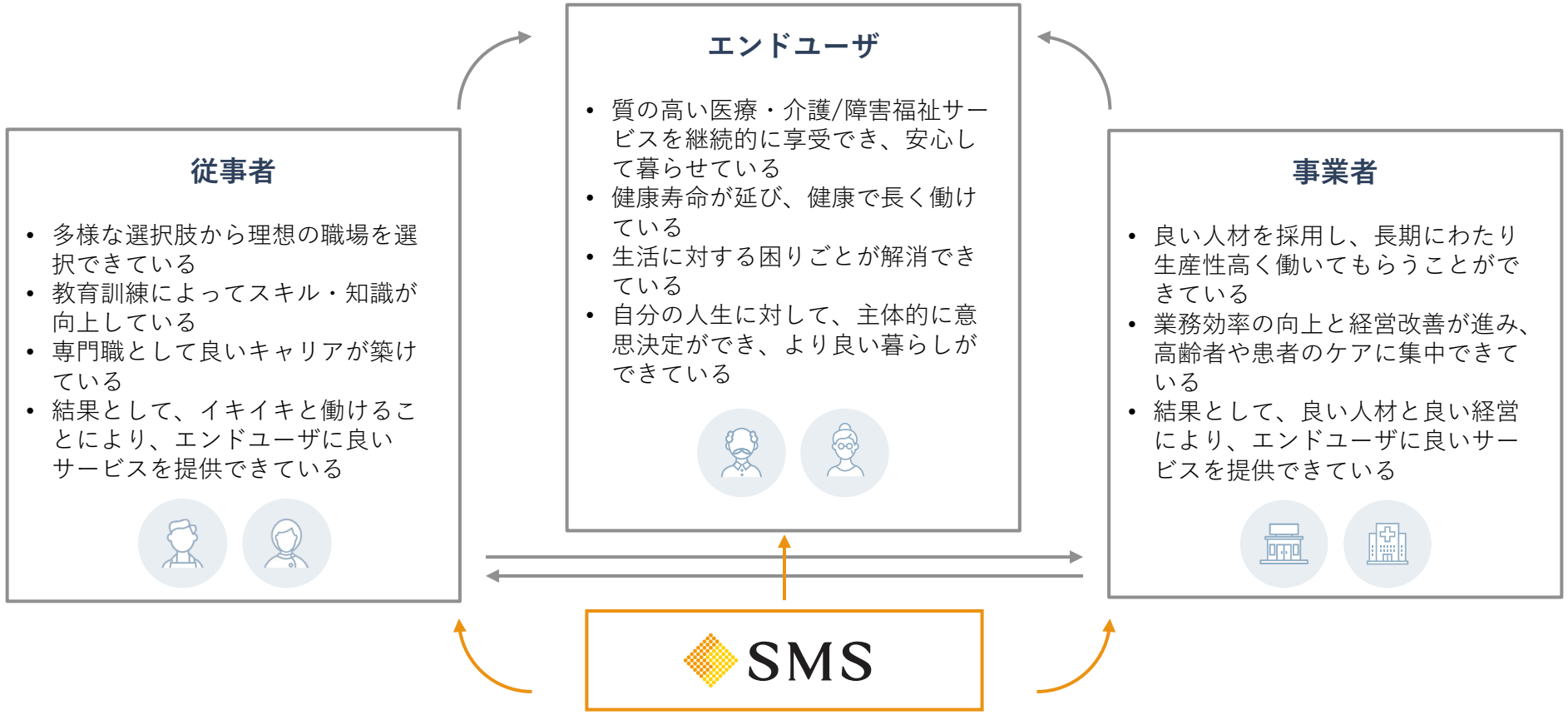
キャリア事業、介護・障害福祉経営支援事業、ヘルスケア事業、シニアライフ事業を戦略的事業領域とし、各領域において事業を通じて戦略的に取り組むことで高齢社会の3つの課題の解決を目指す



© SMS Co., Ltd.

グループミッションの実現

高齢社会に適した情報インフラを構築し、エンドユーザへの直接的な価値提供と、従事者・事業者を通じた間接的な価値提供により、高齢社会に生きる人々の生活の質の向上に貢献



© SMS Co., Ltd.

成長の軌跡

© SMS Co., Ltd.

事業ポートフォリオ

- 「キャリア」「介護・障害福祉経営支援」「海外」の計3セグメントを中心に多様なサービスを展開

事業内容

キャリア – 人材紹介、DR・その他

- 看護師向け人材紹介「ナース専科 転職」
- 介護職向け人材紹介「カイゴジョブエージェント」
- 保育士向け人材紹介「保育士人材バンク」
- 職種横断DRプラットフォーム「ウェルミージョブ」

介護・障害福祉経営支援

- 介護/障害福祉事業者向け経営支援プラットフォーム「カイポケ」「かべなしクラウド」

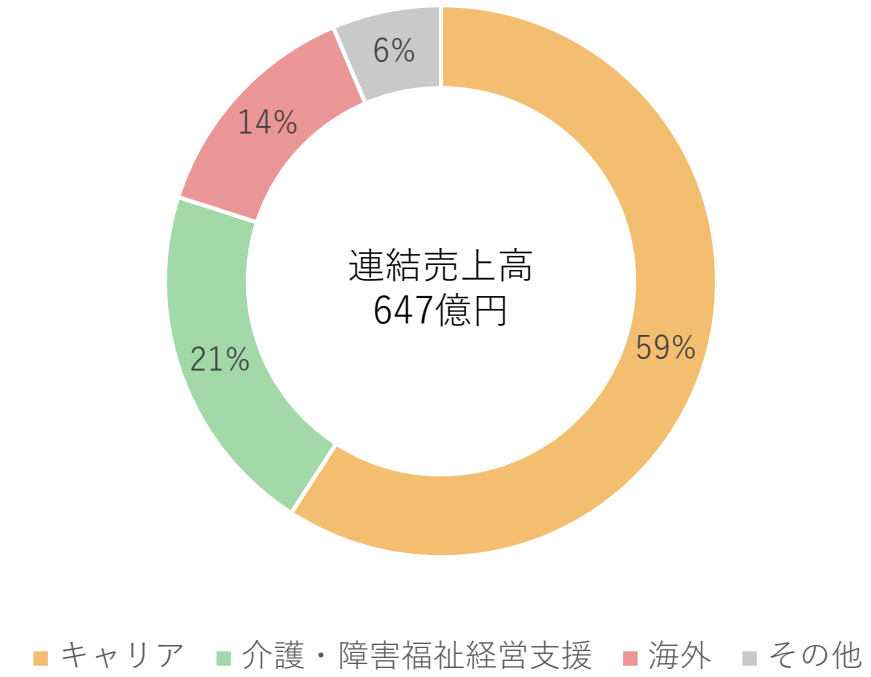
海外

- 医療関連事業者マーケティング支援
- クリニカルディシジョンサポート
- 展開国のドメスティック・クロスボーダーでの医療系人材紹介

その他

- ヘルスケアとシニアライフ領域を軸に新規事業を開発・育成

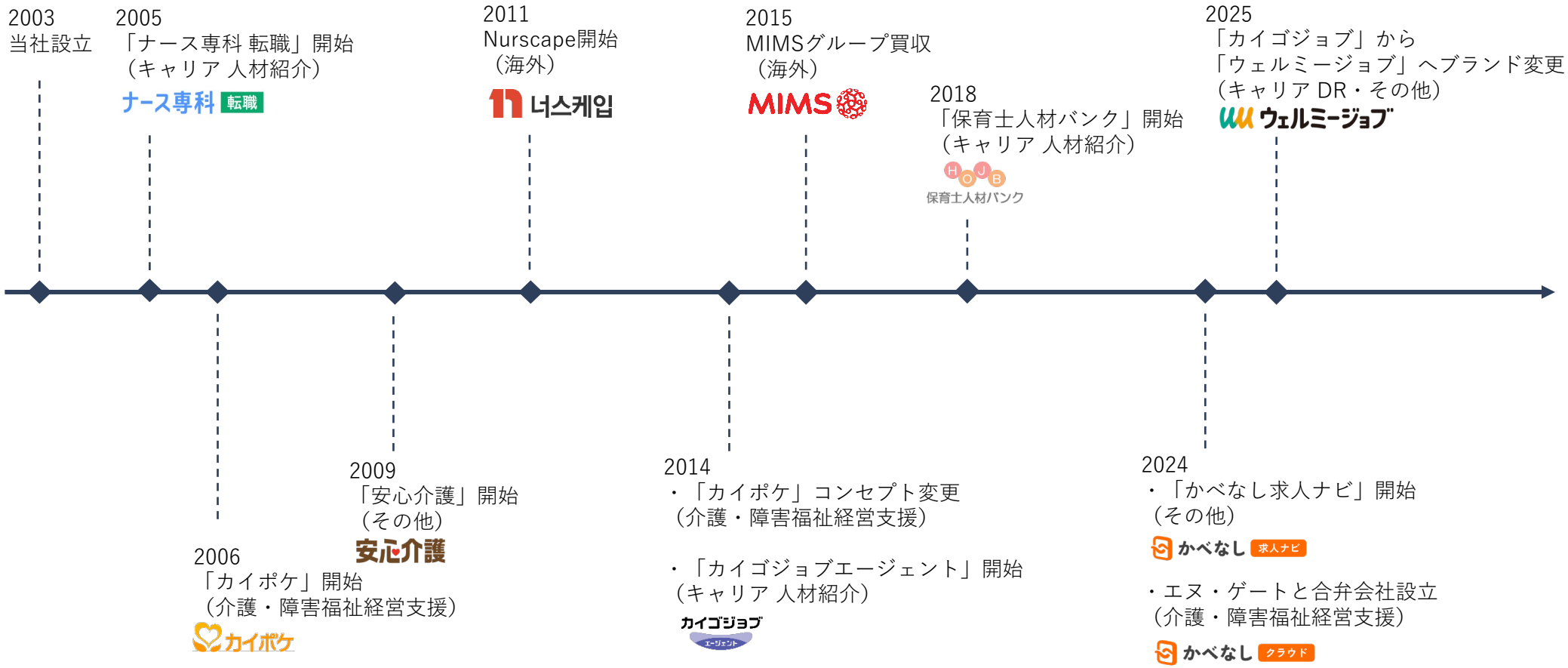
セグメント別売上構成（2026年3月期）



© SMS Co., Ltd.

当社の歴史

- 創業以来、看護師向け人材紹介が成長を牽引
- 介護職や保育士向け人材紹介・カイポケ・海外など事業を拡大
- ヘルスケア・シニアライフ領域を中心とした新規事業の開発・育成により、更なる成長を実現



© SMS Co., Ltd.

事業拠点

- 2003年に日本で創業し、2015年のMIMSグループ買収を機に海外展開を加速
- 日本及びAPACを中心に17の国・地域で事業を展開

日本	ベトナム
韓国	フィリピン
中国	インド
香港	オーストラリア
台湾	ニュージーランド
シンガポール	UAE
マレーシア	アイルランド
インドネシア	ドイツ
タイ	

© SMS Co., Ltd.

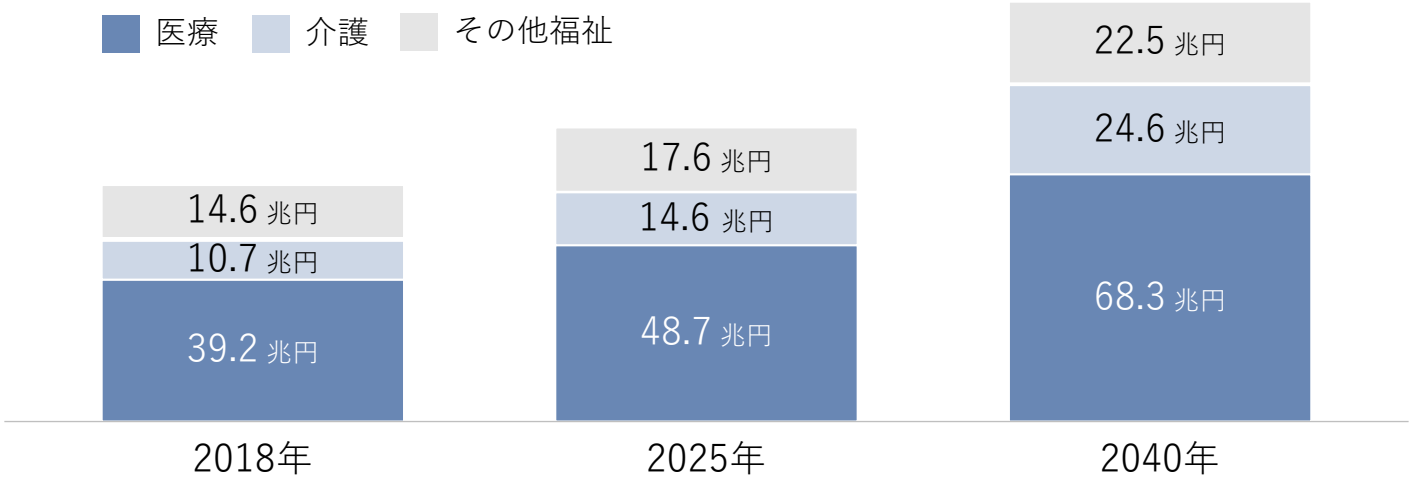
キャリア事業

© SMS Co., Ltd.

課題1. 質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に（再掲）

高齢化に伴い医療・介護/障害福祉の需要が増大する中、生産年齢人口の減少により、それを担う医療・介護従事者の不足が深刻化し、質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に

医療・介護等社会保障費推移予測*1



看護師の必要数*2（2018年比）

+17万人 → +32万人

介護職の必要数*3（2022年比）

+25万人*4 → +57万人

1. 内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」
2. 厚生労働省「看護師等（看護職員）の確保を巡る状況」
3. 厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」
4. 2026年時点の必要数

© SMS Co., Ltd.

キャリア事業領域における社会課題解決の方向性

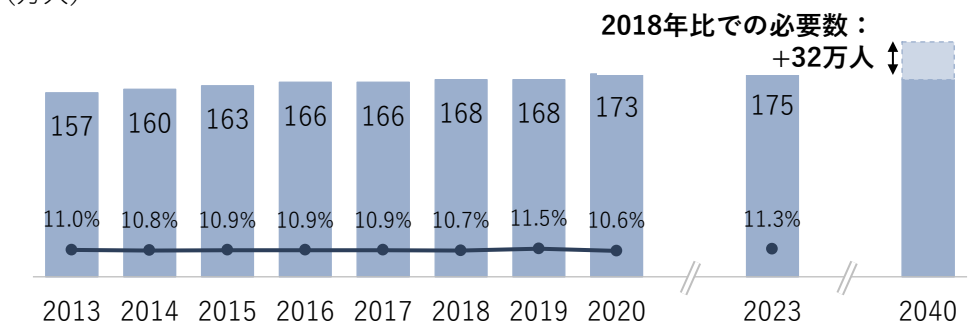
「質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に」という社会課題に対し、医療・介護/障害福祉従事者と事業者の最適なマッチングを通じて、「医療・介護/障害福祉の人手不足と偏在を解消」し、社会課題の解決に貢献

© SMS Co., Ltd.

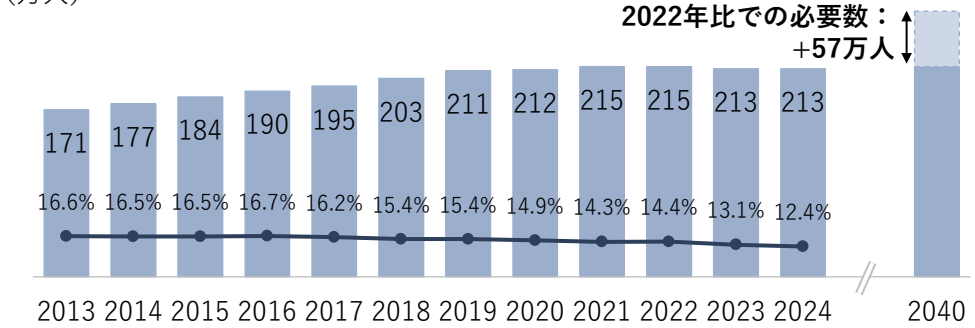
医療・介護/障害福祉における人手不足

- 看護師、介護職ともに就業者数は増加するも、人手不足は引き続き深刻
- 特に人手不足が顕著な介護職については、2040年には2022年と比較して57万人が追加で必要となる見込み

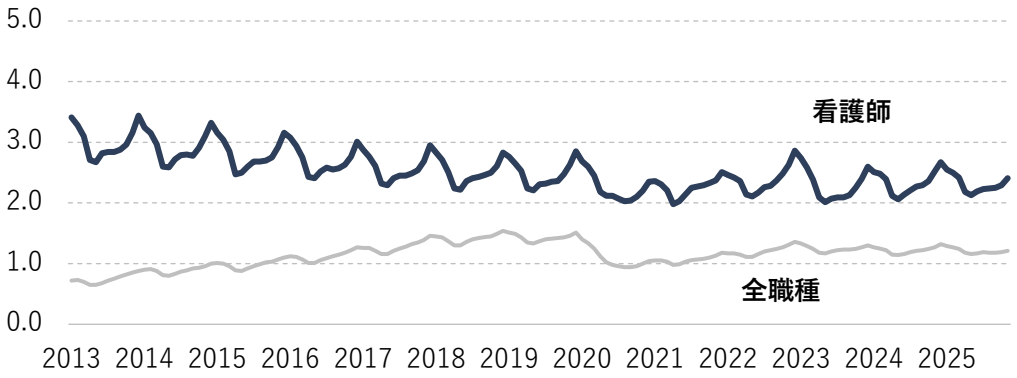
看護師数／看護師離職率*1



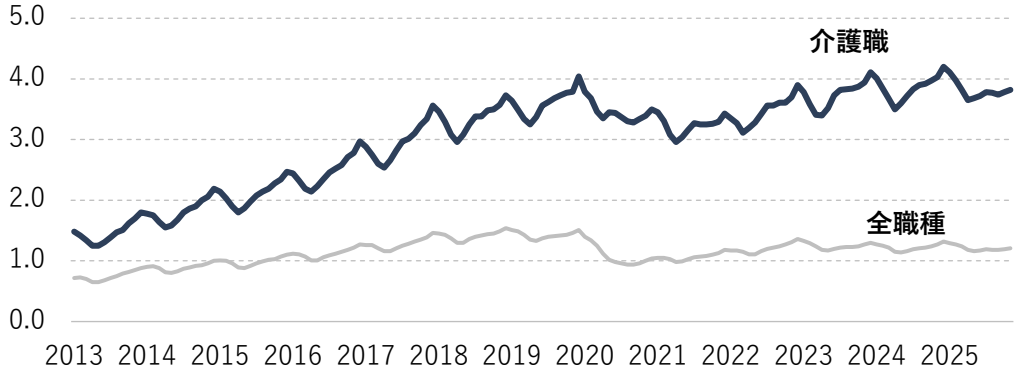
介護職数／介護職離職率*2



有効求人倍率*3



有効求人倍率*3



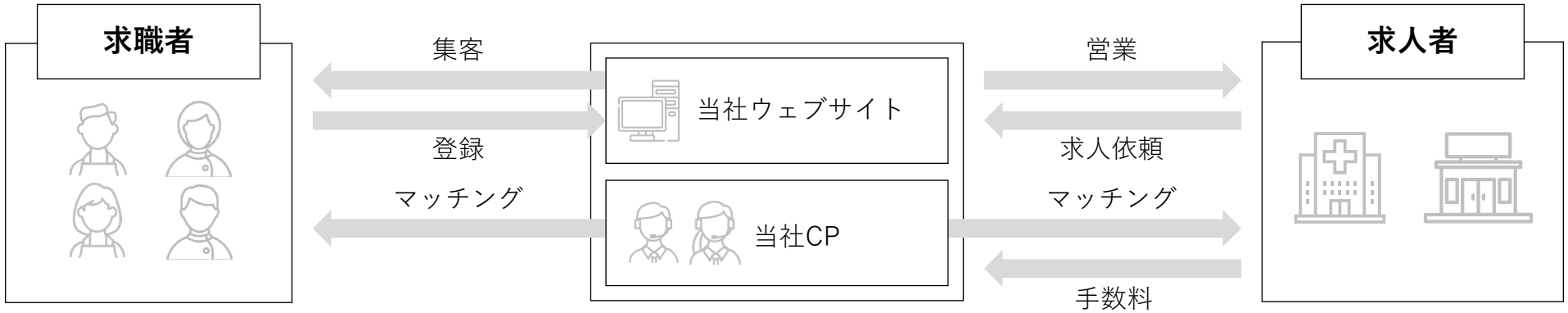
1. 看護師数／看護師離職率：日本看護協会「看護統計資料」、2040年における必要数：厚生労働省「看護師等（看護職員）の確保を巡る状況」
2. 介護職数：厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」「介護サービス施設・事業所調査」、介護職離職率：介護労働安定センター「介護労働実態調査」
3. 厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」

© SMS Co., Ltd.

キャリア事業のビジネスモデル

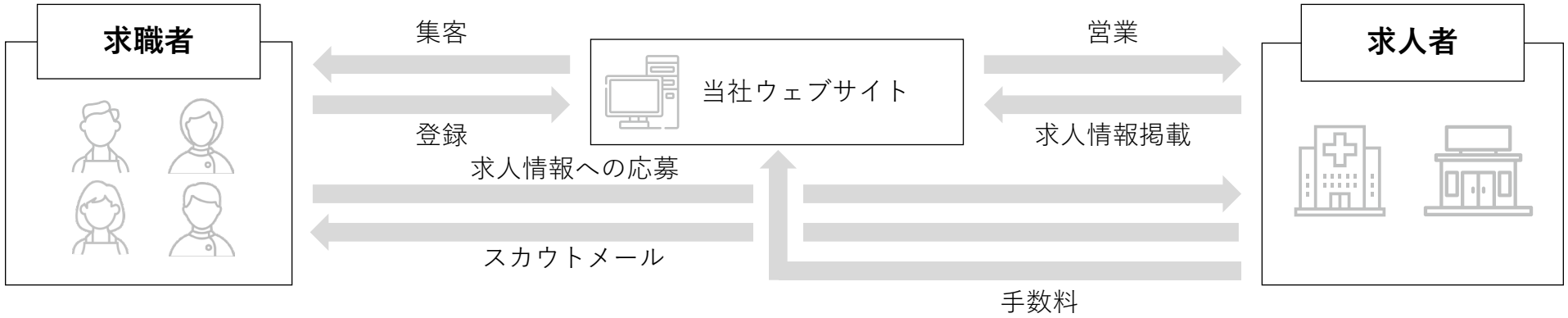
人材紹介のビジネスモデル

求職者が転職に成功した場合、職種に応じて年収の一定割合の手数料を事業者から得る



DRのビジネスモデル

求職者が転職に成功した場合、職種に応じた手数料を事業者から得る



© SMS Co., Ltd.

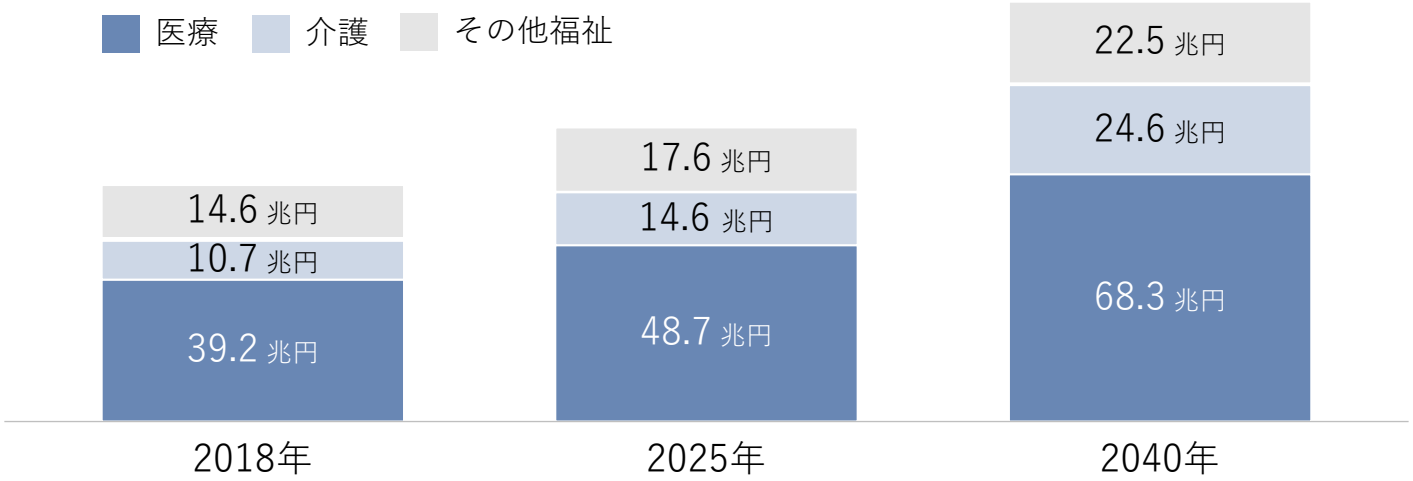
介護・障害福祉経営支援事業

© SMS Co., Ltd.

課題1. 質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に（再掲）

高齢化に伴い医療・介護/障害福祉の需要が増大する中、生産年齢人口の減少により、それを担う医療・介護従事者の不足が深刻化し、質の高い医療・介護/障害福祉サービスの提供が困難に

医療・介護等社会保障費推移予測*1



看護師の必要数*2（2018年比）

+17万人 → +32万人

介護職の必要数*3（2022年比）

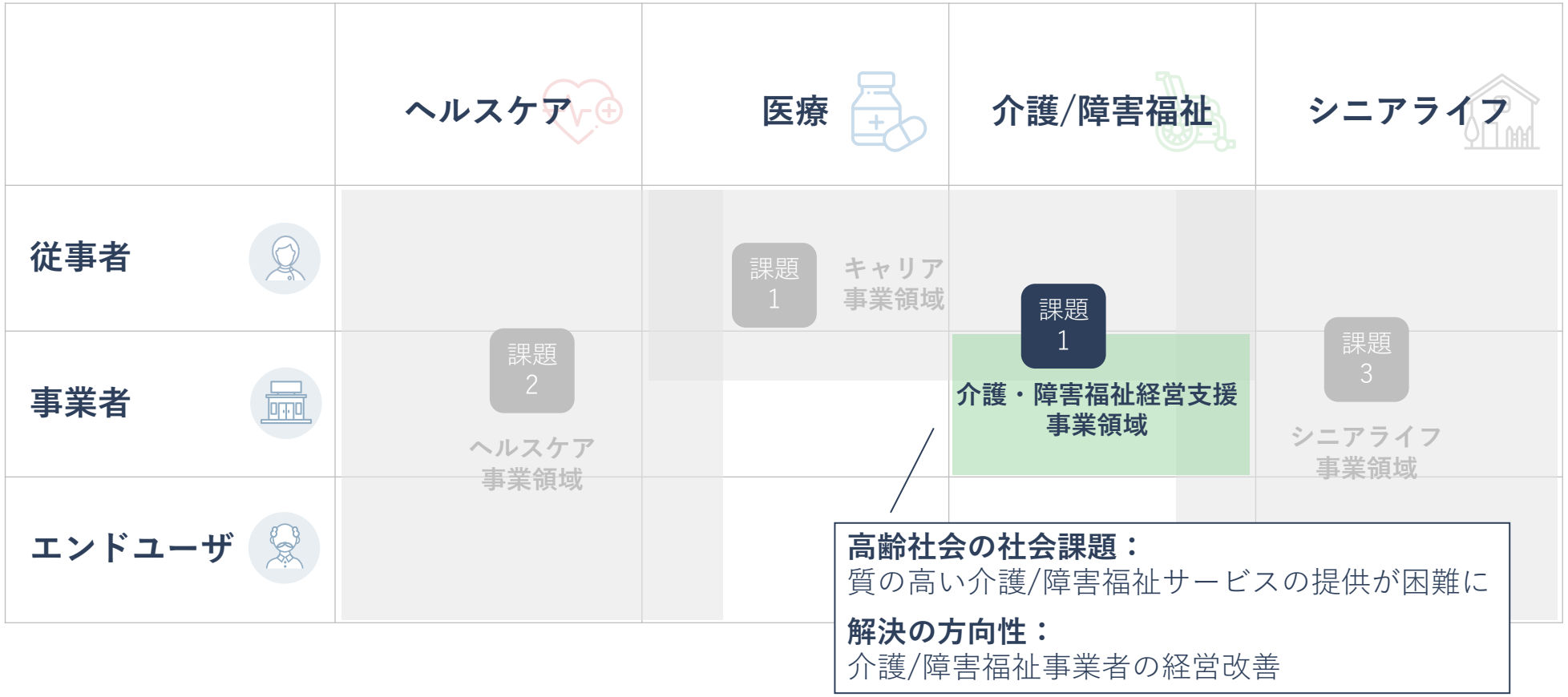
+25万人*4 → +57万人

1. 内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」
2. 厚生労働省「看護師等（看護職員）の確保を巡る状況」
3. 厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」
4. 2026年時点の必要数

© SMS Co., Ltd.

介護・障害福祉経営支援事業領域における社会課題解決の方向性

「質の高い介護/障害福祉サービスの提供が困難に」という社会課題に対し、経営支援プラットフォーム「カイポケ」「かべなしクラウド」の提供により、「介護/障害福祉事業者の経営を改善」し、社会課題の解決に貢献



© SMS Co., Ltd.

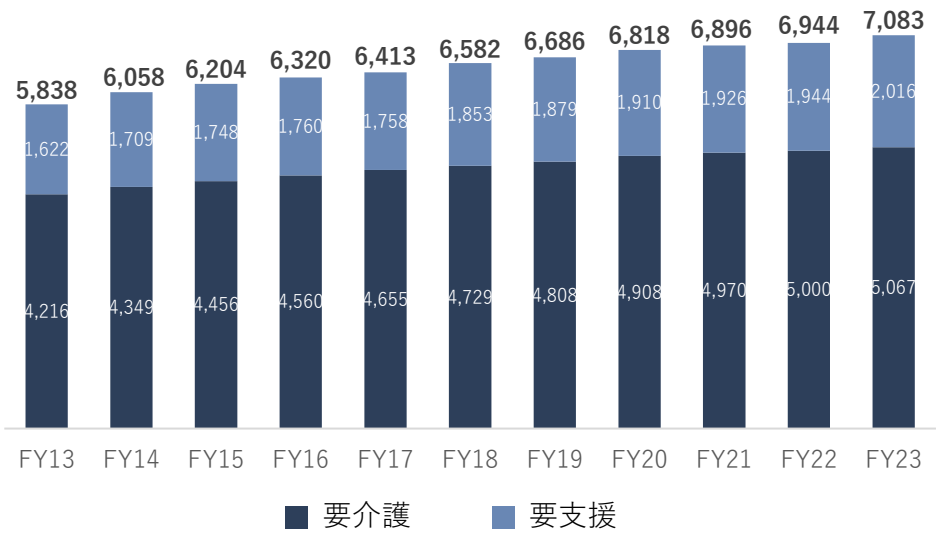
介護サービスの市場環境

高齢化に伴う介護を必要とする人の増加を背景に、介護事業者は継続して増加し、その数は約27万事業所にのぼる

要介護・要支援認定者数*1

（千人）

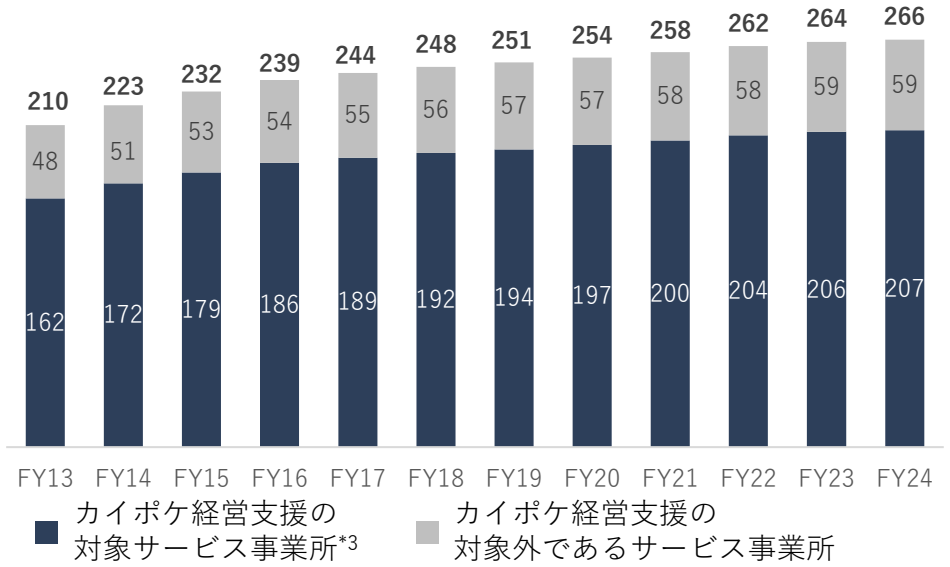
年平均増加率：2.0%



介護事業所数*2

（千事業所）

年平均増加率：2.2%



1. 厚生労働省「介護保険事業状況報告」
2. 厚生労働省「介護給付費等実態統計報告（各年3月）」をもとに当社作成
3. カイポケ経営支援の対象は、居宅介護支援、訪問介護、通所介護、訪問看護、通所リハ等の在宅系の事業所であり、グループホーム、ショートステイ、特定施設、小規模多機能等の施設系サービスには対応していない

© SMS Co., Ltd.

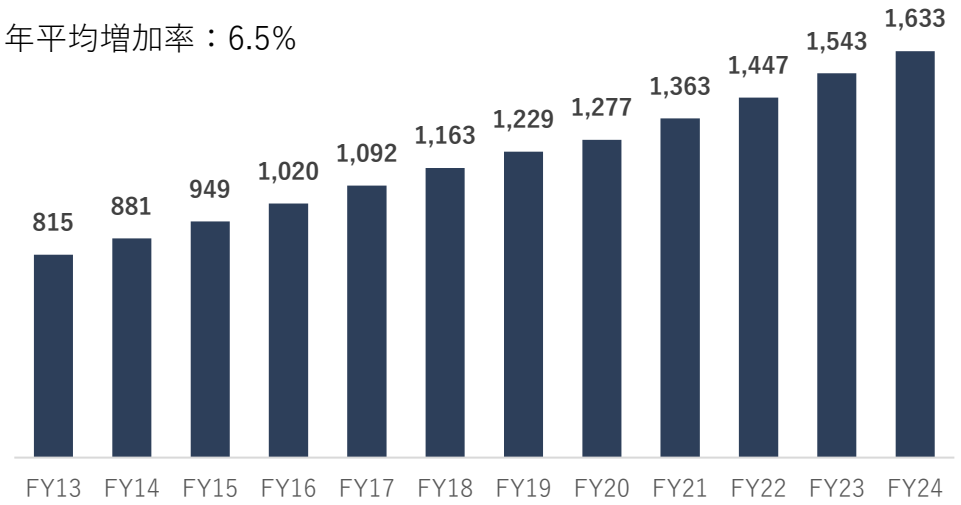
障害福祉サービスの市場環境

障害への理解の深まり・診断のハードルの変化等により、障害福祉サービスの利用者数は増加傾向にあり、障害福祉サービスを提供する事業所数も継続して増加している

障害福祉・障害児サービスの利用者数（1ヶ月平均）*1

（千人）

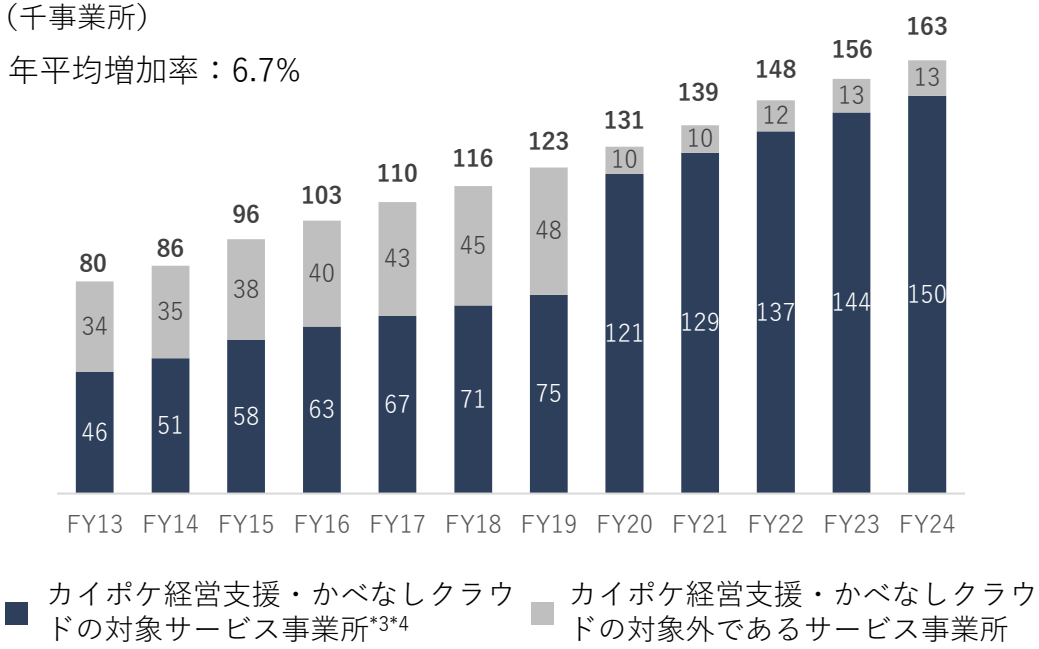
年平均増加率：6.5%



障害福祉サービス事業所数*2

（千事業所）

年平均増加率：6.7%



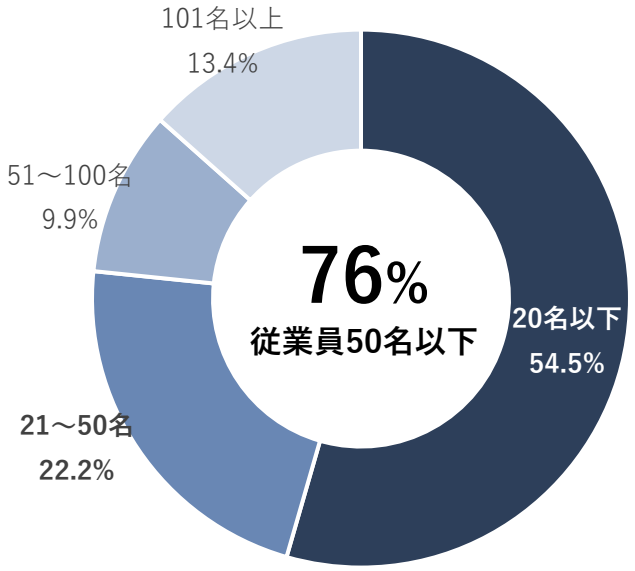
1. 厚生労働省「障害福祉　統計情報　障害福祉サービス等の利用状況について」
2. 厚生労働省「障害福祉　統計情報　障害福祉サービス等の利用状況について」「障害福祉分野の最近の動向」2019年度までは各年度の平均値、2020年度以降は3月末時点
3. カイポケ経営支援・かべなしクラウドの対象は、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、生活介護、自立生活援助、共同生活援助、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援（A型/B型）、就労定着支援、計画相談支援、障害児相談支援、児童発達支援、放課後等デイサービス
4. カイポケ経営支援・かべなしクラウドの対象である同行援護、行動援護、自立生活援助、共同生活援助（外部サービス利用型/日中サービス支援型）、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援（A型/B型）、就労定着支援、障害児相談支援について、個別の事業所数が2019年度以前は不明のため、2019年までは対象外、2020年より対象としてカウント

© SMS Co., Ltd.

介護/障害福祉事業者を取り巻く状況

- 介護/障害福祉事業者のうち、4分の3が従業員50名以下の小規模法人
- 書類作成などの間接業務の多さ、人手不足、購買力の弱さ、資金繰り難等の業務・経営上の問題があり、本来注力すべき高齢者ケア・障害者ケアへの集中が困難
- 自前でのIT化・効率化が難しく、SaaSや総合的な経営支援への構造的な需要が存在

介護/障害福祉事業所運営法人の従業員数*1

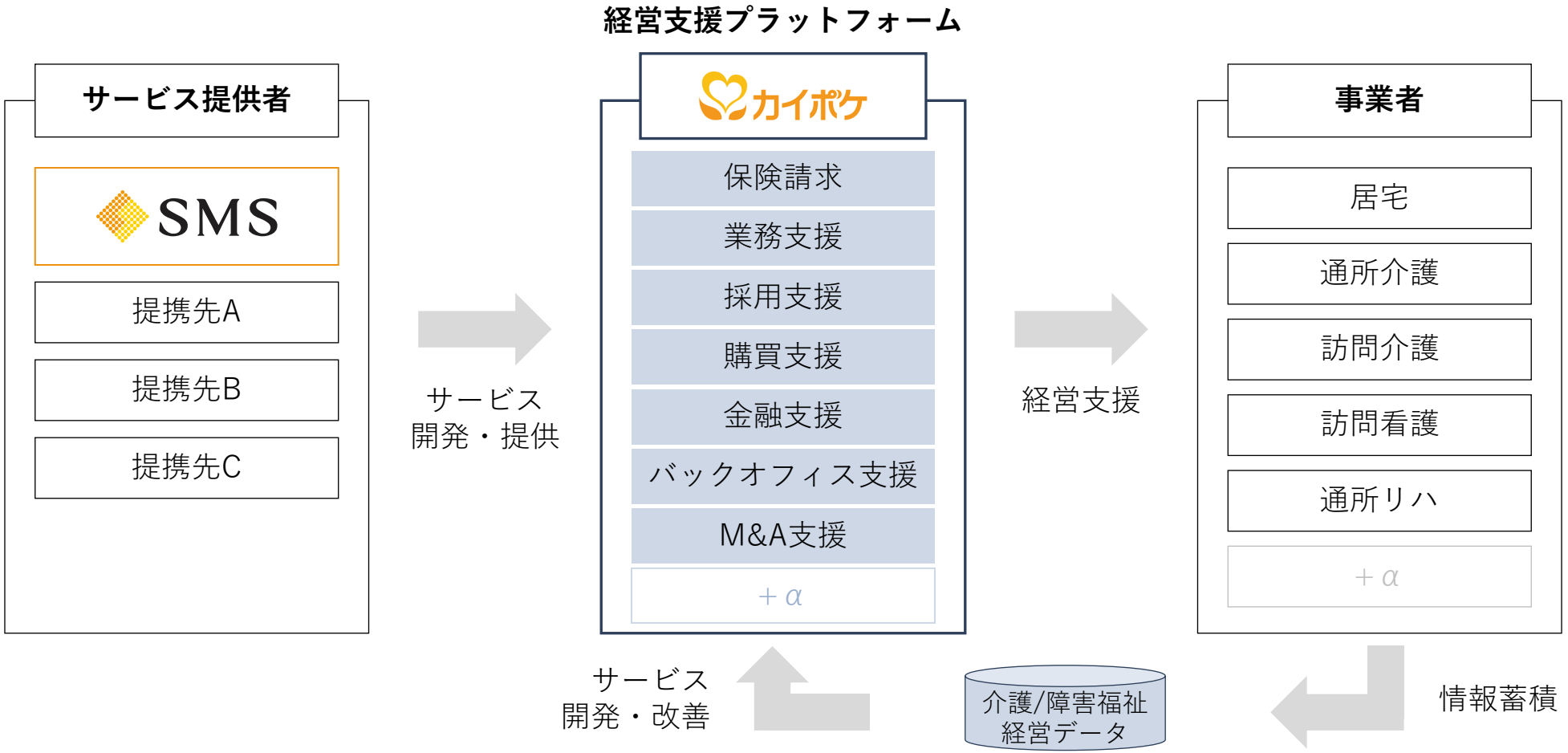


1. 厚生労働省「介護サービス情報公表システム」「WAM NET」より2026年3月時点の情報を集計

© SMS Co., Ltd.

経営支援プラットフォーム

- 介護/障害福祉事業者の経営をワンストップで支援する、サブスクリプション型のクラウドサービス
- 事業所の運営に不可欠な保険請求の機能に加え、業務・採用・購買・金融・バックオフィス・M&Aなどを支援する40以上のサービスを提供



© SMS Co., Ltd.

カイポケの主なサービス

40種類以上のサービスを、パッケージ[*1]として提供するサブスクリプション型の経営支援プラットフォーム

保険請求	• 利用者の利用予定・実績管理ができ、連動して介護保険の請求書類を作成可能
採用支援	• キャリア事業と連携し、介護/障害福祉事業所で働く人材の採用を支援
バックオフィス支援	• スタッフの勤怠管理・給与計算・給与振込等の労務管理、事業所の経営や利用者への請求情報管理、会計処理等、バックオフィス業務の効率化を支援
業務改善	• iPadを貸出、現場での書類作成が可能
開業支援	• 指定申請、資金調達、物件探し、商圏調査等、開業に必要な手続き・準備をサポート
財務改善	• ファクタリングサービスを提供、キャッシュフローを改善
購買支援	• 介護/障害福祉経営に必要な備品を手軽に安価に調達可能 • 格安でのスマートフォンレンタル等も実施
M&A支援	• 介護/障害福祉事業所等の事業承継を支援

1. iPadの利用やファクタリング等は別途課金

© SMS Co., Ltd.

カイポケ・かべなしクラウドはAIによりさらに強化される

- **カイポケ・かべなしクラウドはAIに代替される可能性は構造的に低く、蓄積したデータを起点としてAI機能を展開することで、さらに成長が可能である**

制度要請がAI代替の障壁に	スイッチングが起きにくい構造	AIをレバレッジにした成長余地
複雑な規制業界への特化 介護保険・医療保険・障害福祉の制度対応と報酬改定への即時対応が継続的に求められる。汎用AIでは、制度準拠の複雑性や業界特有のコンテキストに対応不可	**高いデータ移行コスト** 過去の利用者記録や請求履歴などは5年間の保管義務があり、過去データの移転コストが極めて高い	**行動・実践を支えるシステムへの質的深化** サービス提供により蓄積したデータを起点に、AI記録支援・AI帳票作成支援・AI返戻予測等の業務支援機能を展開
法的保管義務を伴う記録システム 行政機関の運営指導（実施指導）対応に必要な記録を保持する必要性。AIは法的に有効な記録の保管責任を担えない	**ソフトウェア外の価値提供** 金融支援・開業支援・採用支援・運営サポート等、ソフトウェア外での、経営に関わる多面的な価値を提供	**カイポケコネクトへの拡張** 地域包括ケアにおける、事業者間及び多職種連携プラットフォームとして、AIを活用した新規価値を創出
制度上求められる高い厳格性 医療・介護/障害福祉の記録と請求データは、ミスの許容度が極めて低く、個人情報・医療情報の高セキュリティ下での厳格な管理も求められる	**事業者内外に広がる利用構造** 記録から報酬請求・入金まで事業所全体の業務フローに統合され、経営者・現場職員・利用者と多層的に浸透。事業者間連携のネットワーク効果が離脱障壁をさらに強化	**業界特化データの優位性** 業界最大級の経営・ケアサービスに関するデータや記録システムに蓄積された顧客固有のデータが継続的にAI精度を高め、時間とともに自己強化する競合参入障壁を形成

© SMS Co., Ltd.

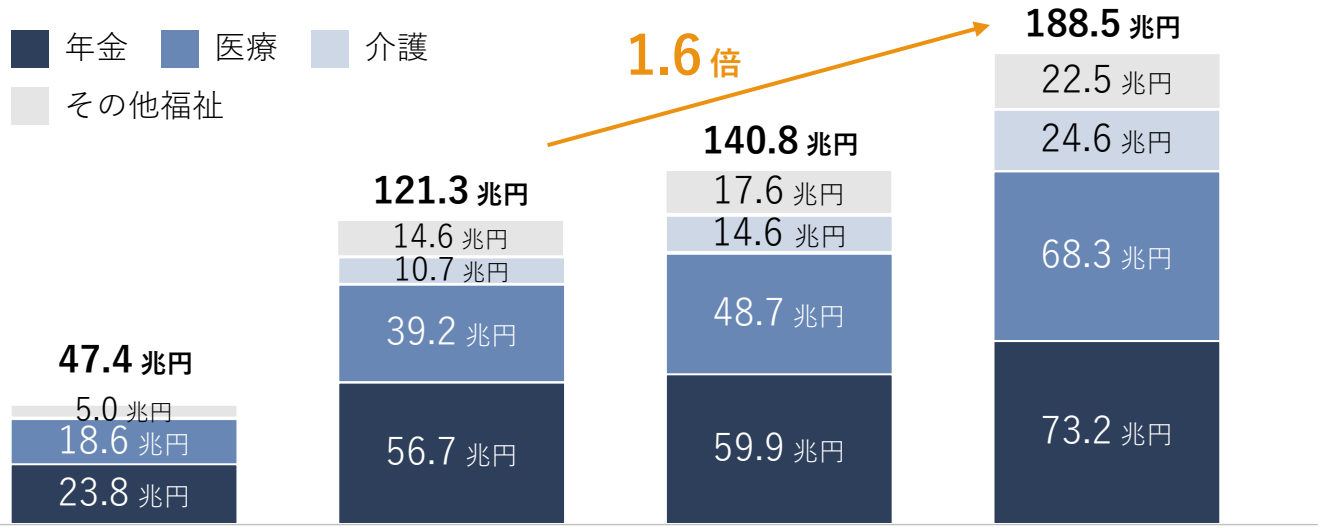
ヘルスケア事業

© SMS Co., Ltd.

課題2. 現役世代の負担がより深刻に（再掲）

高齢化に伴い年金・医療・介護等の社会保障費が増大する中、生産年齢人口の減少に伴う支え手不足により、現役世代の負担が深刻に

年金・医療・介護等社会保障費推移予測*1



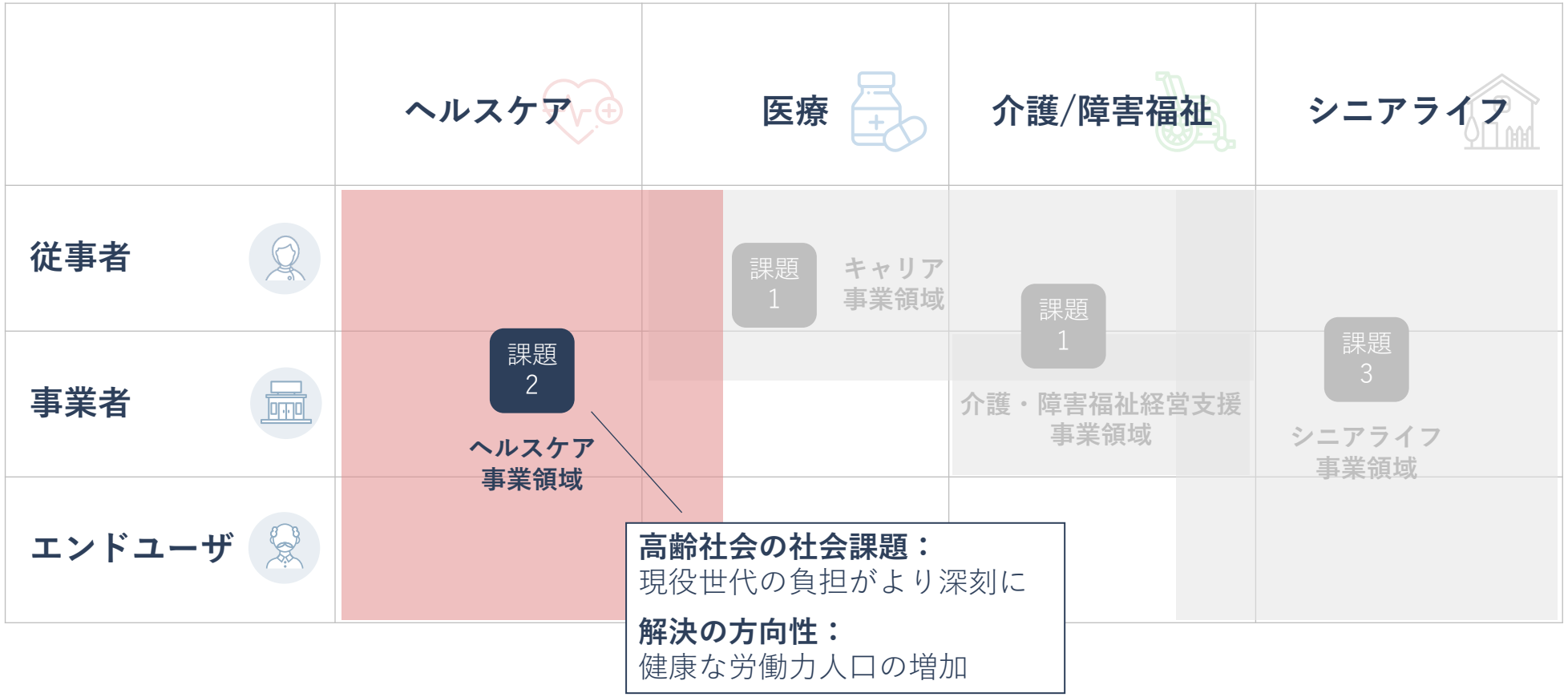
高齢者1人に対する生産年齢人口数*2

1. 厚生労働省「社会保障給付費の推移」、内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」
2. 総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」をもとに当社作成

© SMS Co., Ltd.

ヘルスケア事業領域における社会課題解決の方向性

「現役世代の負担がより深刻に」という社会課題に対し、企業の健康経営を支援するプラットフォームの提供により、「健康な労働力人口の増加」に寄与し、社会課題の解決に貢献



© SMS Co., Ltd.

生活習慣病とメンタル不調が招くQOL[*1]と労働生産性の低下

- 現役世代の中には、糖尿病などの重篤な病等に進行することも多い生活習慣病の患者やその予備軍が多く存在し、過労やストレスに起因したメンタル不調も近年大幅に増加
- 国は、企業が従業員とその家族の健康増進に取り組む「健康経営」の普及促進に向けた政策を積極的に推進

フィジカル不調

生活習慣病の発症リスクあり

特定保健指導対象者数[*2]

約 **519** 万人

生活習慣病

糖尿病患者数[*3]

約 **552** 万人

高血圧性疾患患者数[*3]

約 **1,617** 万人

メンタル不調

気分障害患者数[*3]

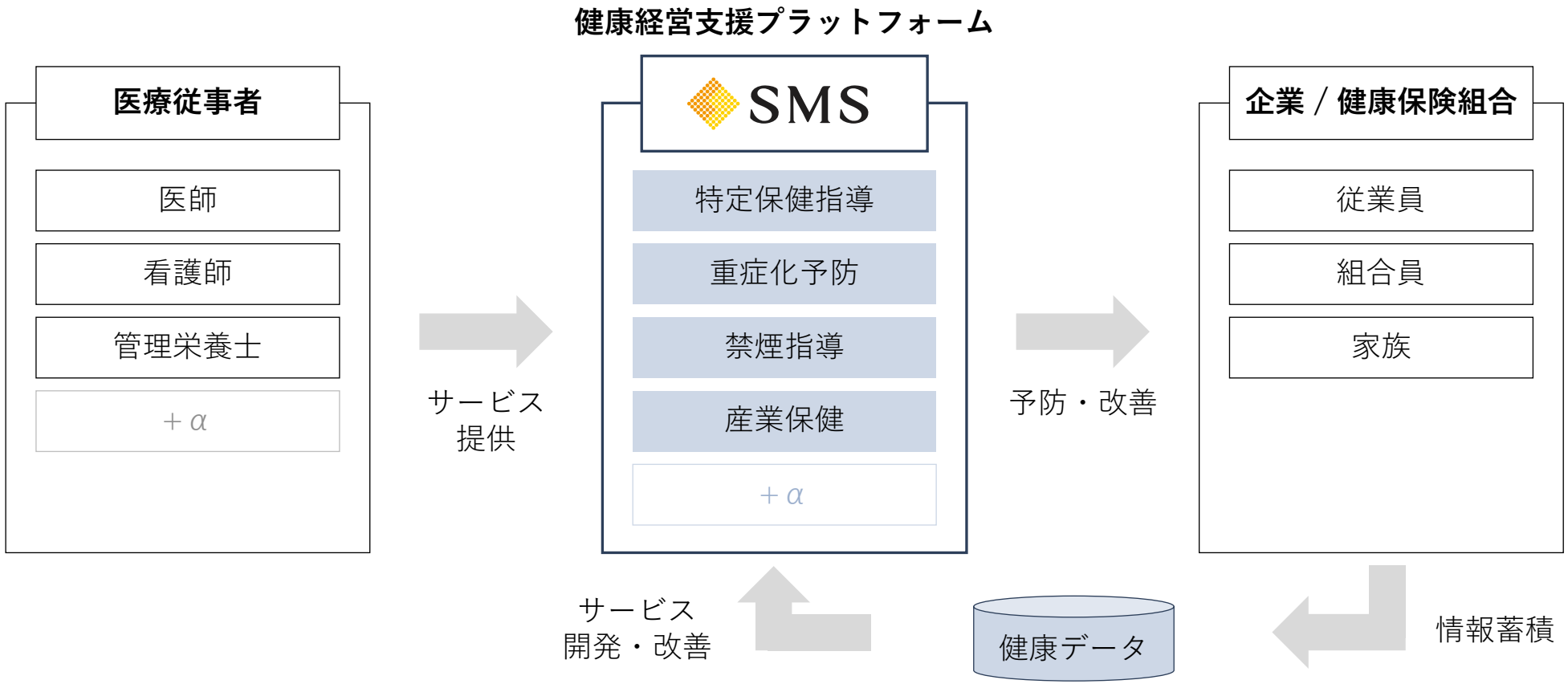
約 **159** 万人

1. 生活の質
2. 厚生労働省「2023年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況」、対象者は40~74歳
3. 厚生労働省「令和5年患者調査」

© SMS Co., Ltd.

健康経営支援プラットフォーム

医師や看護師、管理栄養士などの医療従事者の力を活用したエビデンスに基づくデジタルヘルスサービス[*1]を企業や健康保険組合に提供

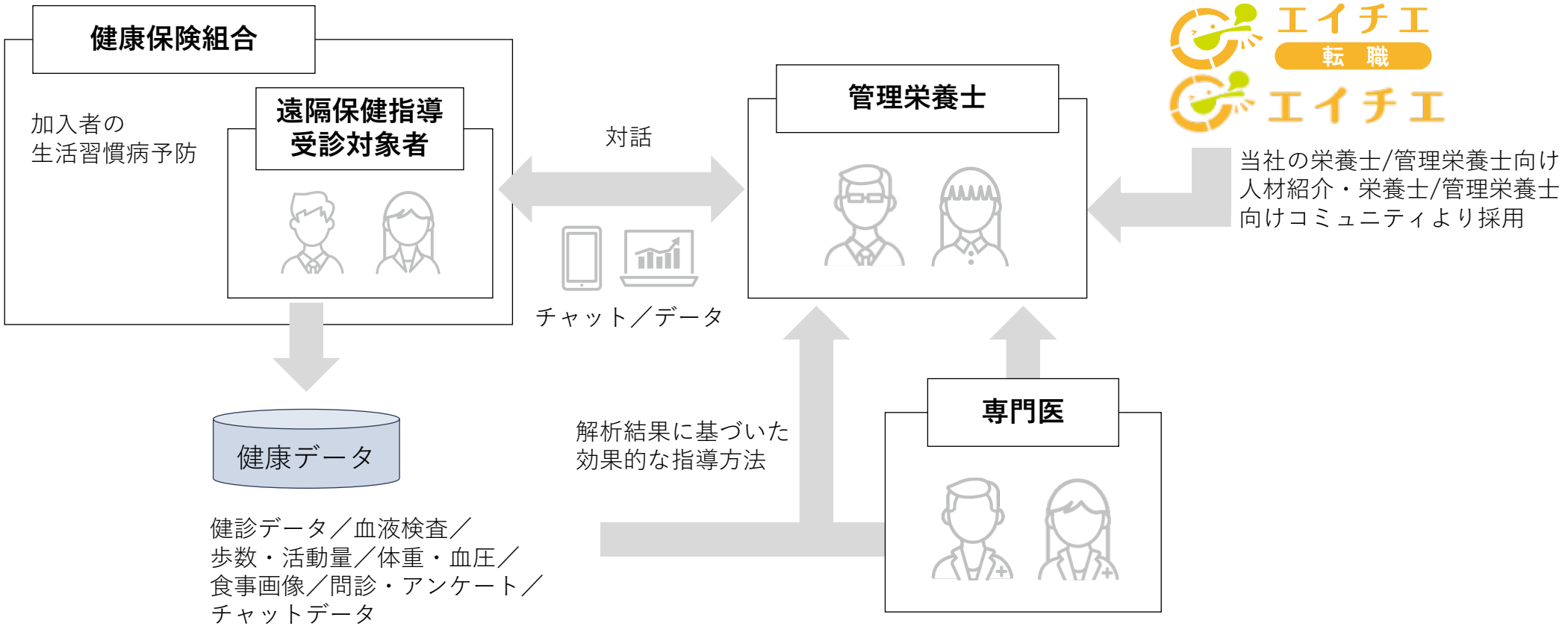


1. デジタルヘルス：AI、ICT、IoT、ウェアラブルデバイス、ビッグデータ解析など最新のデジタルヘルス技術を活用し医療やヘルスケアの効果を向上させること

© SMS Co., Ltd.

遠隔保健指導

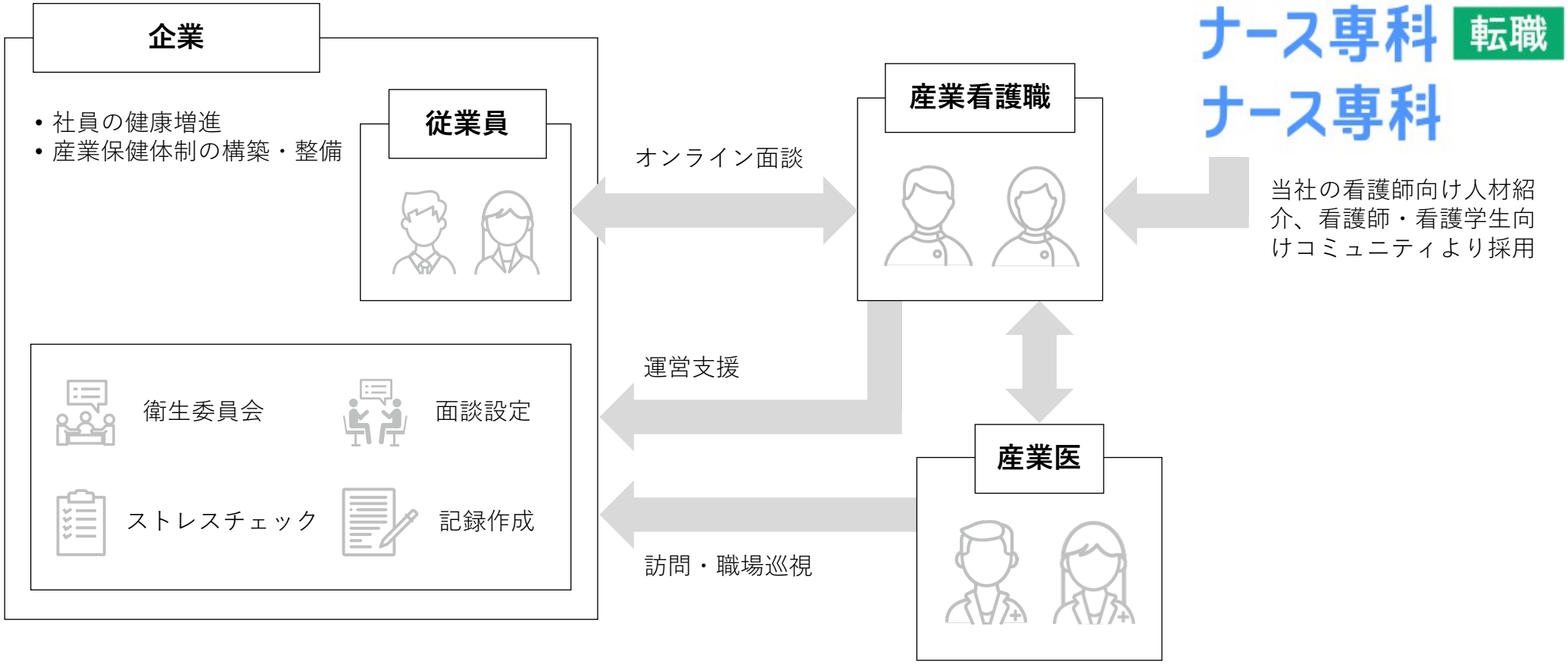
- 健康保険組合に対し、官公庁との実証実験の成果に基づいた管理栄養士による特定保健指導を提供し、従業員とその家族の生活習慣病予防をサポート
- スマートフォン等を活用した完全リモートサービスで、高頻度の指導や継続しやすさを実現



© SMS Co., Ltd.

リモート産業保健

- 企業の人事・労務部門に対し、産業医訪問やストレスチェックの実施、衛生委員会の立ち上げ・運営といった産業保健業務を総合的に支援
- 産業医と産業看護職の2名体制でのサービス提供を通じ、人事・労務担当の業務負担軽減とより効果的なメンタルケアを実現



© SMS Co., Ltd.

当社の強み

医療従事者ネットワーク、ICTの知見、官公庁等との実証事業の実績という強みを活用し、生活習慣病やメンタル不調の予防のための安価で実効性のあるソリューションを提供

医療従事者ネットワーク

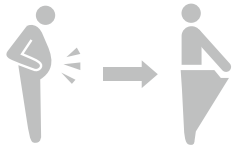
- サービス提供に不可欠となる優秀な医療人材を確保可能

生活習慣病やメンタル不調の予防のための
安価で実効性のあるソリューション

ICTの知見

- ICTの活用で安価・効率的なサービスを提供可能

実証事業による実績



- 官公庁や国立病院と共同で実証事業を実施
- 効果が実証されたサービスを提供可能

© SMS Co., Ltd.

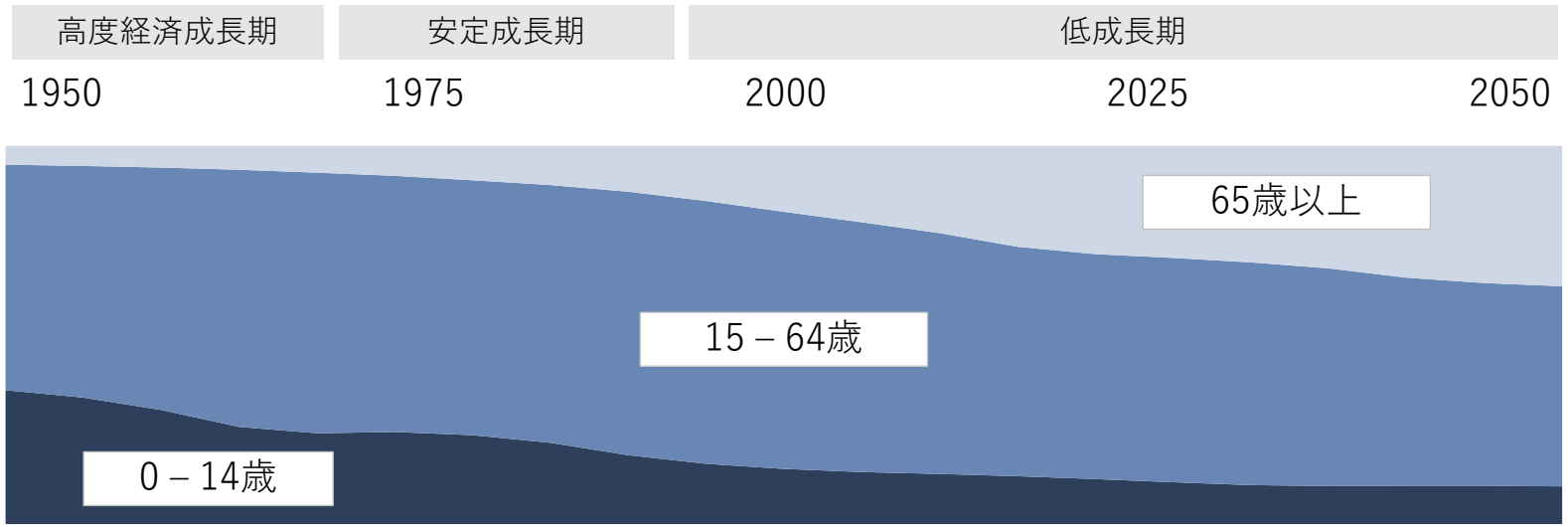
シニアライフ事業

© SMS Co., Ltd.

課題3. 高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に（再掲）

- 高齢化に伴い社会で必要とされるサービスが変化し需要が拡大する一方、高齢社会の生活にまつわる情報は質・量ともに不足しており、また、整理された形で提供されていない
- 加えて、労働力不足により、高齢社会で求められるサービス供給そのものが不足し、高齢者やその家族が困りごとを解決することが困難に

人口における年齢構成比*1



必要とされるサービス

1. 総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」

© SMS Co., Ltd.

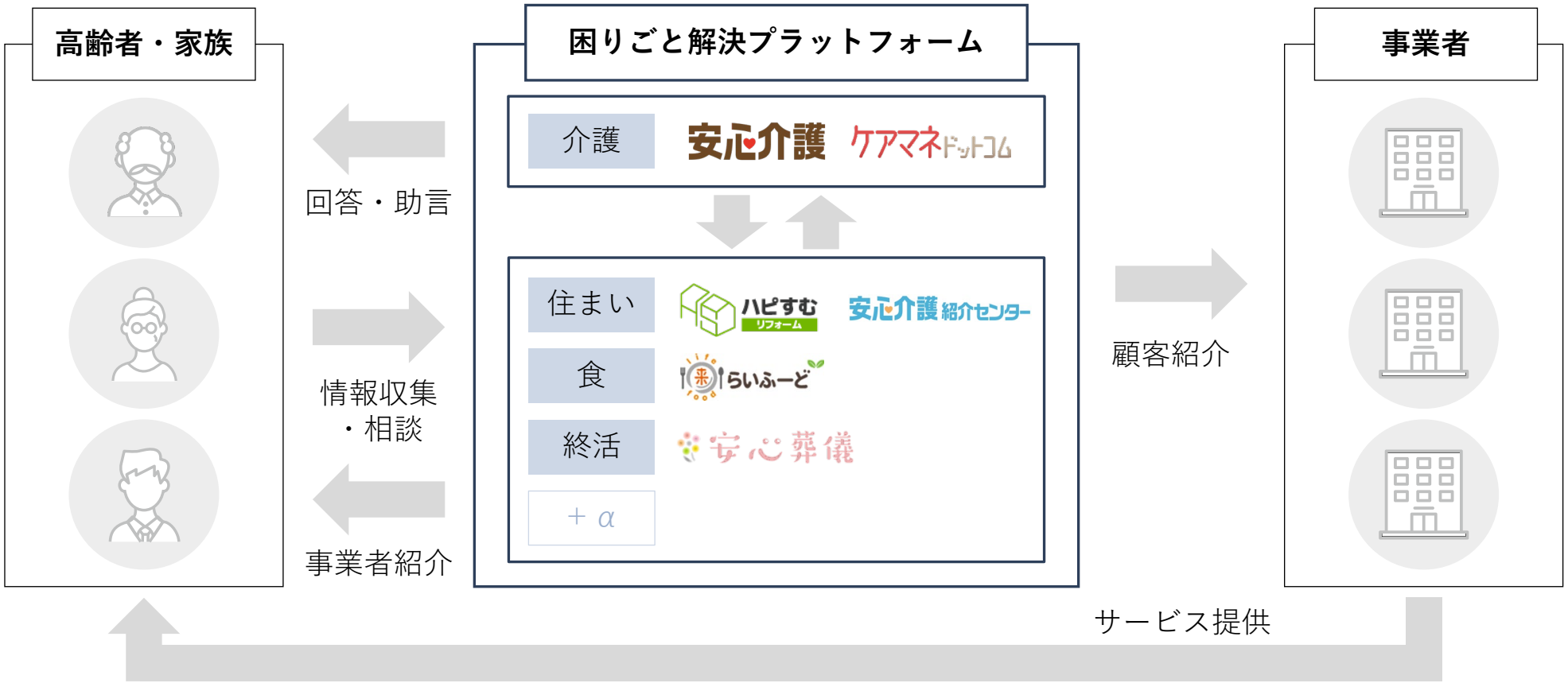
シニアライフ事業領域における社会課題解決の方向性

「高齢社会の生活にまつわる困りごとの解決が困難に」という社会課題に対し、生活にまつわる悩みやニーズを抱えた人々を、その解決に役立つ相談先やサービスにつなぐ困りごと解決プラットフォームの構築を通じ、「多様な選択肢と質の高い意思決定情報を提供」し、社会課題の解決に貢献

© SMS Co., Ltd.

困りごと解決プラットフォーム

介護を中心とした幅広い困りごとを、介護に悩む人向けコミュニティを通じ、介護者同士の交流や専門家からのアドバイスを通じて解決するとともに、住まい・食・終活等の特定テーマの困りごと解決につながるサービスを提供する提携事業者を紹介



© SMS Co., Ltd.

海外事業

© SMS Co., Ltd.

海外の事業領域

2015年に子会社化したMIMSグループを中心としたメディカルプラットフォーム事業領域と、グローバルでの医療従事者の就転職を支援するグローバルキャリア事業領域の2領域で事業を展開

海外分野の事業構成

海外	メディカルプラットフォーム事業領域	Medical Marketing事業	製薬会社をはじめとした医療関連事業者等[*1]のマーケティング活動を支援
		Clinical Decision Support 事業	処方箋のエラーチェック等のクリニカル・ディシジョン・サポートサービスを提供
	グローバルキャリア事業領域		クロスボーダー／ドメスティックで医療従事者の就転職を支援

1. 製薬会社、医療機器メーカー、ヘルスケア商品メーカー、業界団体、政府機関等を指す

© SMS Co., Ltd.

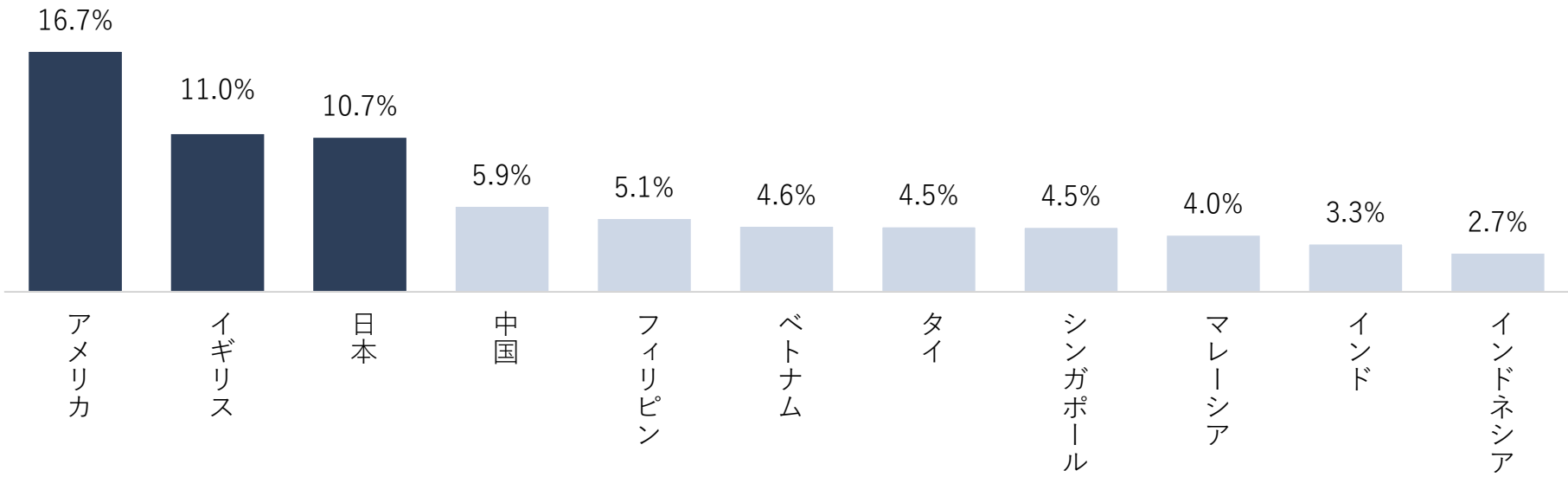
メディカルプラットフォーム事業領域

© SMS Co., Ltd.

課題：APACでは医薬品・医療機器等の普及が遅く、医療の質が十分でない

- APACでは経済規模に対する医療費支出が先進国に比べて少ない
- 医療制度や規制、言語、文化、慣習が国ごとに異なり、製薬会社等が各国に参入するハードルが高い
- 結果として、医薬品・医療機器等の普及が遅く、医療の質が十分ではないという社会課題に直面

医療費支出のGDP対比*1

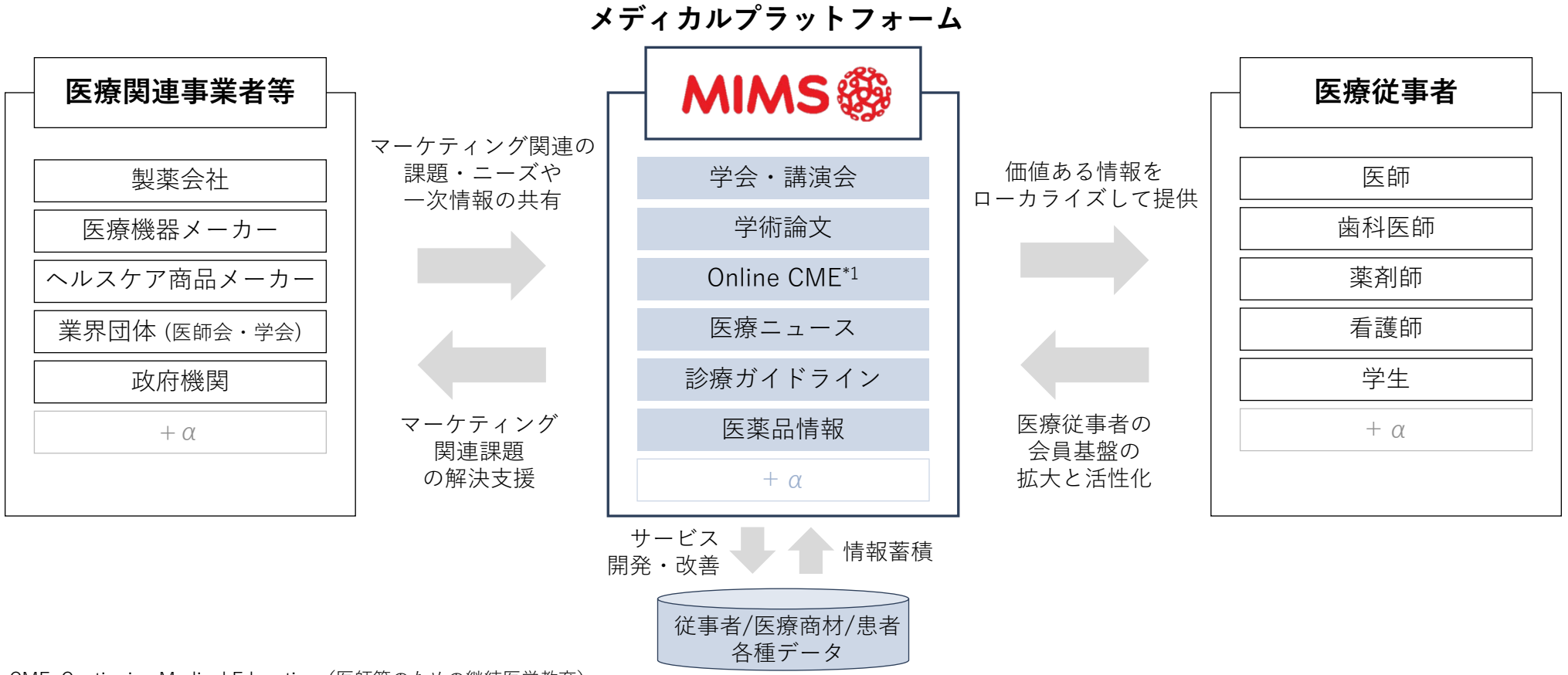


1. WHO「Global Health Expenditure Database」（2023年）

© SMS Co., Ltd.

メディカルプラットフォーム

- APAC各国の医療従事者の会員基盤を活かし、全世界の製薬会社をはじめとした医療関連事業者等のマーケティング活動を支援
- 価値ある情報をローカライズして医療従事者へ提供することで、さらなる会員基盤の拡大・活性化につなげ、医療関連事業者等のより効率的・効果的なマーケティング活動を実現



1. CME: Continuing Medical Education（医師等のための継続医学教育）

© SMS Co., Ltd.

グローバルキャリア事業領域

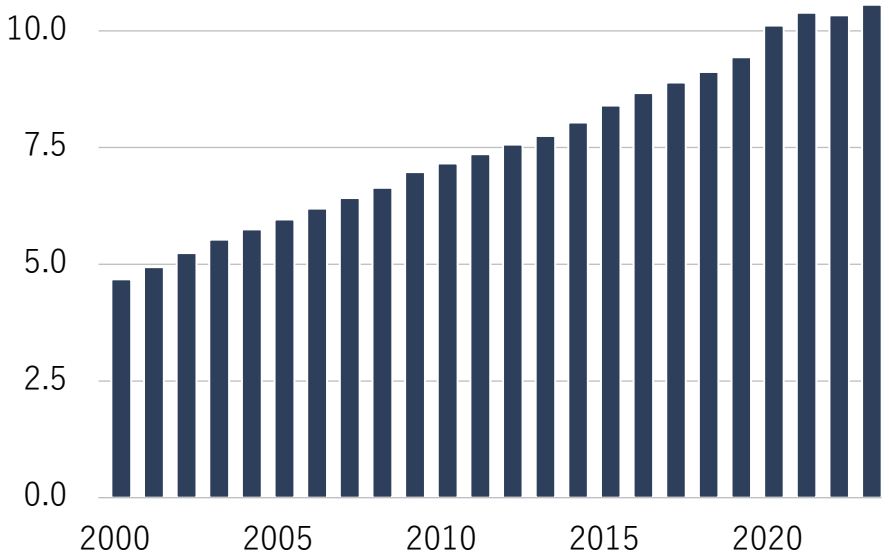
© SMS Co., Ltd.

課題：グローバルにおける医療従事者の不足と偏在

- 医療サービスに関する状況は国や地域によって大きく異なるものの、経済発展や高齢化の進行に伴い医療需要は世界中で継続的に拡大
- 増大する医療需要に対し、医療従事者の不足・偏在が各国で課題に

世界における医療費支出[*1]

（兆ドル）



世界の看護師不足の将来予測[*2]

（万人）

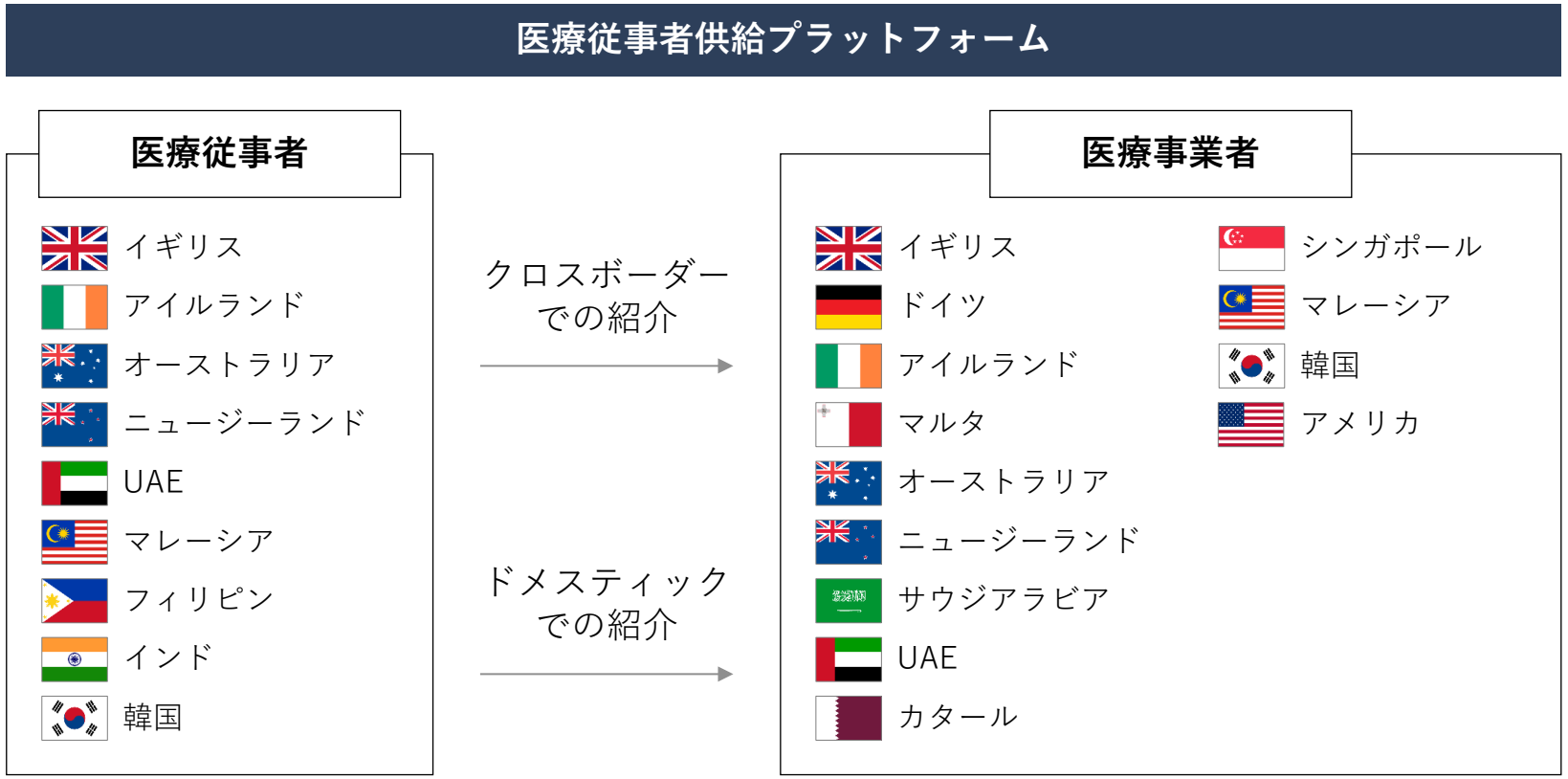
日本	32	(2040年)
ドイツ	39	(2035年)
オーストラリア	12	(2030年)
韓国	16	(2030年)
サウジアラビア	10	(2030年)

1. WHO「Global Health Expenditure Database」、2023年為替レートベースでの医療費支出
2. 日本：厚生労働省「看護師等（看護職員）の確保を巡る状況」、ドイツ：PwC「Fachkräftemangel im Gesundheitswesen:Wenn die Pflege selbst zum Pflegefall wird」、
オーストラリア：保健省「Australia's Future Health Workforce – Nurses Overview Report」、韓国：韓国保健社会研究院「2017年の主要な保健医療人材の中長期需給見通しの研究の結果」、
サウジアラビア： Nourah Alsadaan, Linda K. Jones, Amanda Kimpton and Cliff DaCosta 「Challenges Facing the Nursing Profession in Saudi Arabia:An Integrative Review」

© SMS Co., Ltd.

医療従事者供給プラットフォーム

各国の医療従事者と医療事業者[*1]の需給状況に応じて、クロスボーダー／ドメスティックで最適なマッチングを促進



1. 病院・クリニックなどの医療機関を指す

© SMS Co., Ltd.

グローバルキャリア事業の展開状況

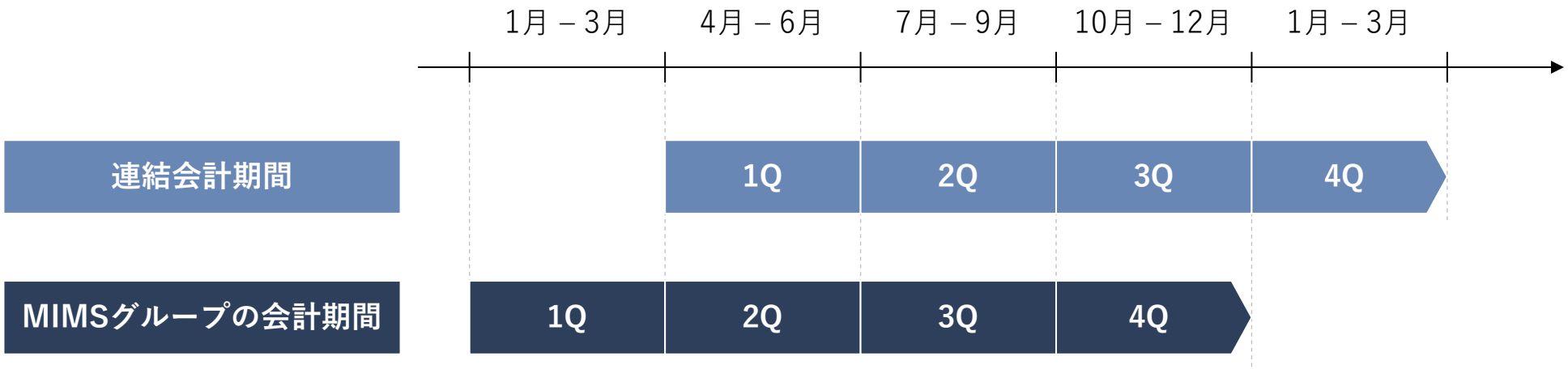
2011年に韓国で看護師向けキャリア関連事業運営会社を子会社化したことを皮切りに、2017年にマレーシア、2018年にフィリピン、2019年にヨーロッパ・オセアニアに進出、2022年にはドイツで展開を開始し、展開国の拡大が着実に進捗

2011年 9月	 韓国	너스케입 Nurscape の子会社化	**グローバルキャリア事業を開始** • 韓国国内での看護師向けキャリア関連事業を開始
2017年 6月	 マレーシア	MELORITA MELORITA の子会社化	**クロスボーダーでの人材紹介を開始** • 中東等の病院に対しマレーシアの医療従事者をクロスボーダーで紹介する事業を開始
2018年 5月	 フィリピン	MSR MSR の子会社化	**医療従事者の出身国の拡大** • 中東等の病院に対しフィリピンの医療従事者の紹介を開始
2019年 8月	 アイルランド・ オーストラリア	CCM CCM RECRUITMENT の子会社化	**ヨーロッパ・オセアニアへの進出** • ヨーロッパ・オセアニアの医療従事者の紹介を開始 • 東南アジア等の医療従事者の紹介先をヨーロッパ・オセアニアに拡大
2022年 12月	 ドイツ	CWC RECRUITMENT careforward CWC/CF の子会社化	**ドイツでの展開を開始** • ドイツの医療機関・介護事業者に対しクロスボーダーでの外国人看護師紹介を開始

© SMS Co., Ltd.

MIMSグループの連結方法

- MIMSグループの決算は3か月遅れで当社グループに連結
- 当社グループの連結会計期間の業績は、MIMSグループを除く当社グループの4月 – 翌3月及びMIMSグループの1月 – 12月の業績に相当



© SMS Co., Ltd.

Appendix

© SMS Co., Ltd.

事業ポートフォリオ*1 – キャリア*2

セグメント	区分	サービス
キャリア	人材紹介サービス	介護職向け人材紹介 カイゴジョブ エージェント 看護師向け人材紹介 ナース専科 転職 保育士向け人材紹介 HOJB 保育士人材バンク 栄養士/管理栄養士向け人材紹介 エイチエ 転職 PT/OT/ST向け人材紹介 PT OT 人材バンク PT/OT JINZAI BANK ケアマネジャー・相談員・障害福祉の人材紹介 CJB ケア人材バンク 放射線技師向け人材紹介 HJB 放射線技師人材バンク 臨床検査技師向け人材紹介 KJB 検査技師人材バンク 臨床工学技士向け人材紹介 CEJB 工学技士人材バンク 治療家*3向け人材紹介 国試黒本 就職・転職 治療家エージェント 資格取得スクール カイゴジョブ アカデミー
	DR・その他	職種横断DR プラットフォーム ウェルミージョブ 看護師・看護学生向けコミュニティ ナース専科 看護師の職場を診断するツール ナース専科 職場診断 看護学生向け就職情報 ナース専科 就職 資格講座情報 ヨカトル 栄養士/管理栄養士向けコミュニティ エイチエ 治療家を目指す人のための総合メディア 国試黒本

1. 2026年7月時点
2. 医師・薬剤師向けサービスは、持分法適用関連会社であるエムスリーキャリア社を通して提供（当社49%、エムスリー社51%出資）
3. 柔道整復師、あん摩マッサージ師、はり師、きゅう師のこと

© SMS Co., Ltd.

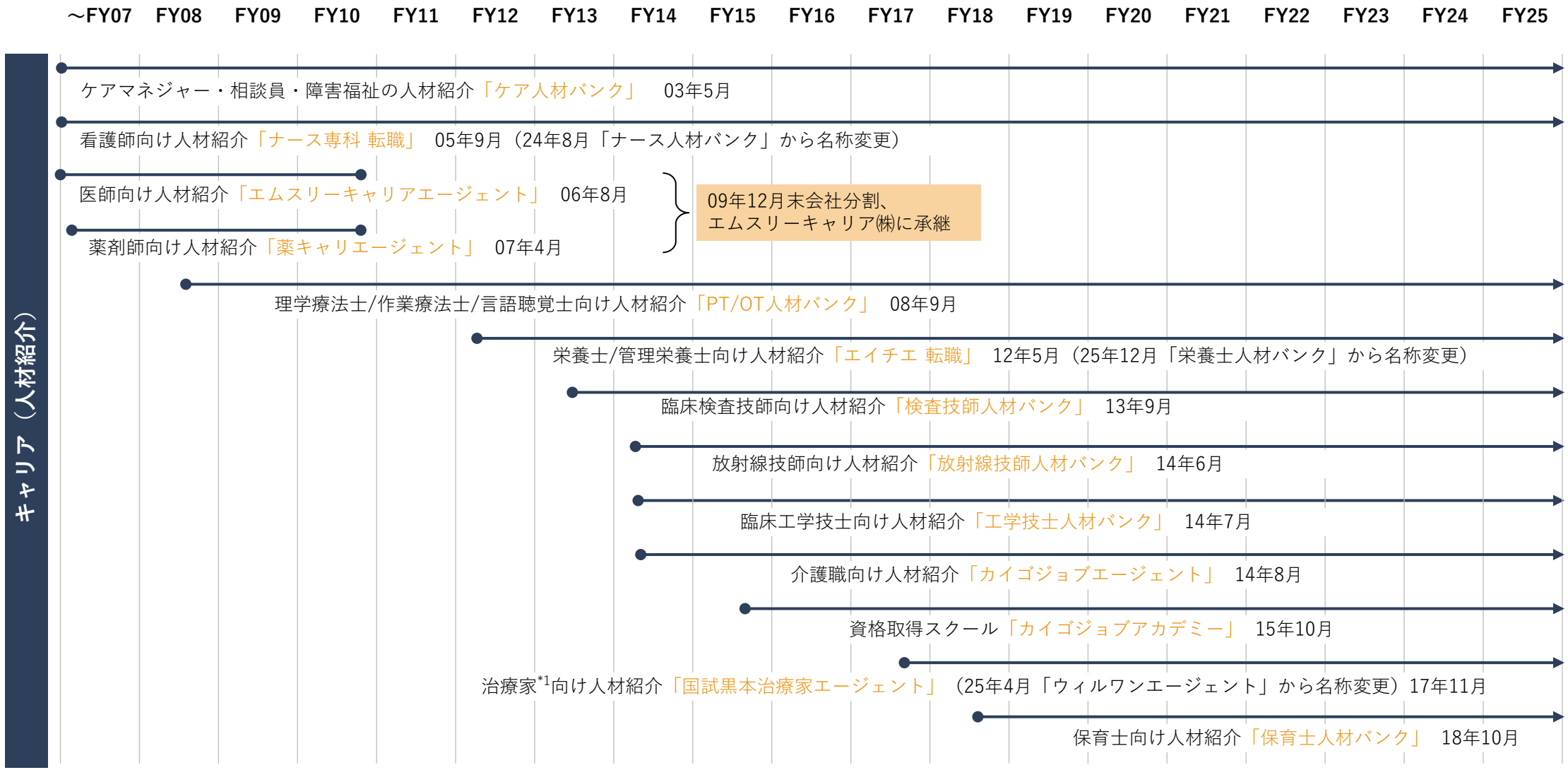
事業ポートフォリオ*1 – 介護・障害福祉経営支援、海外、その他

セグメント	サービス
介護・障害福祉経営支援	介護/障害福祉事業者向け 経営支援プラットフォーム：カイポケ、かべなし クラウド 介護事業経営者・管理者向け情報サービス：介護経営ドットコム 高齢社会の調査・情報発信：高齢社会ラボ
海外	Medical Marketing Clinical Decision Support：MIMS 医療従事者向けクロスボーダー人材紹介（マレーシア、フィリピン、アイルランド、イギリス、ドイツ等）：MELORITA、MSR、CCM RECRUITMENT、CWC RECRUITMENT、care forward 看護師向けキャリアサービス（韓国）：너스케임
その他	障害のある方向け人材紹介：かべなし 求人ナビ 障害のある方向け就労支援事業所情報：かべなし 就労支援ナビ 産業保健ソリューション：リモート産業保健 生活習慣病/重症化予防ソリューション：専門医・管理栄養士による遠隔チャット指導 特定保健指導ソリューション：専門医・管理栄養士による遠隔チャット指導 医療介護業界特化型ストレスチェック：Stress Check 仕事と介護の両立支援ソリューション：仕事と介護の両立支援サービス 安心介護 for biz リフォーム会社紹介：ハピすむ リフォーム 建設業界向け人材紹介：ハピすむ 住まいキャリア 葬儀社紹介：安心葬儀 介護で悩む人向けコミュニティ：安心介護 高齢者向け住宅紹介：安心介護 紹介センター 高齢者向け食事宅配紹介：らいふーど ケアマネジャー向けコミュニティ：ケアマネドットコム 認知症情報ポータル：認知症ねっと

1. 2026年7月時点

© SMS Co., Ltd.

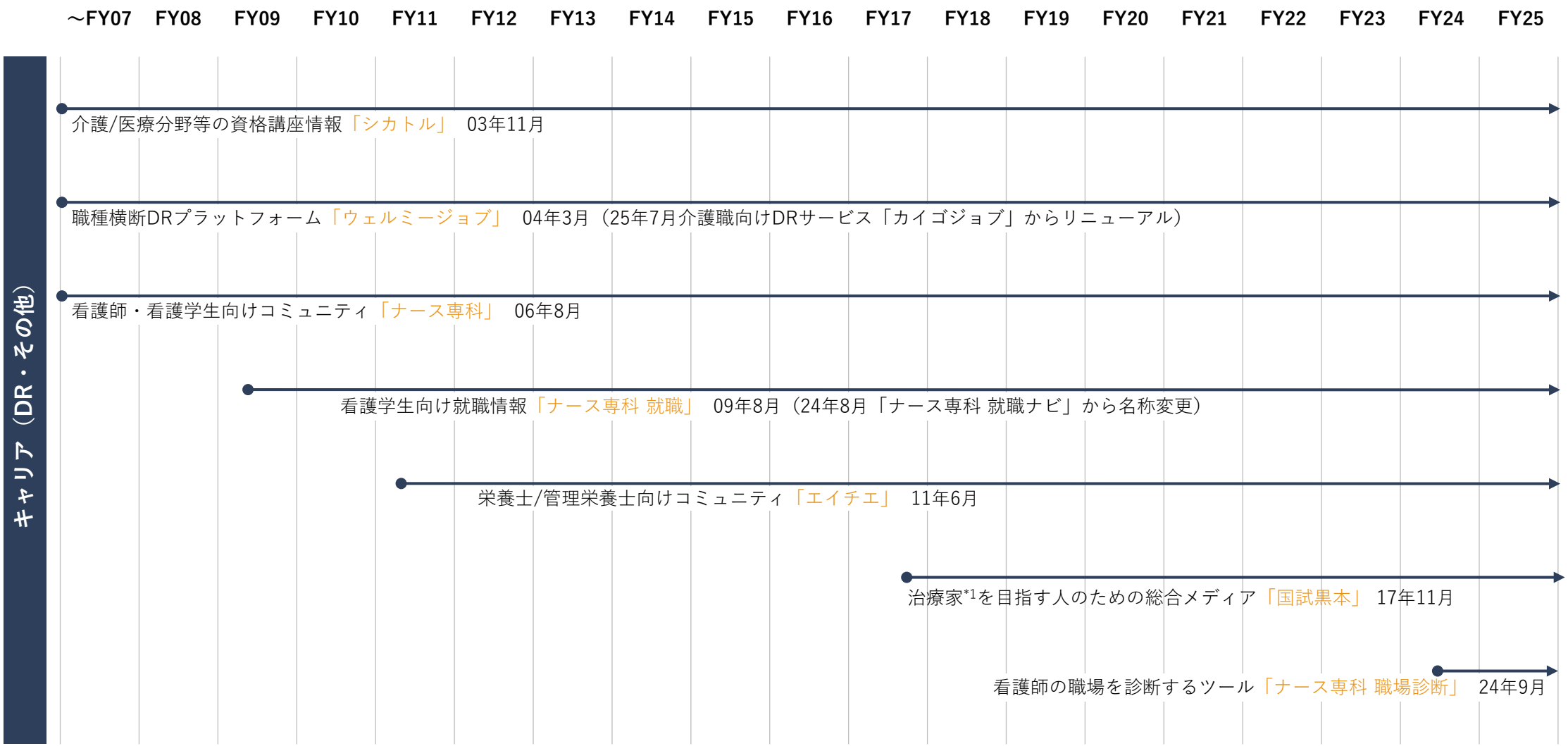
各サービスの開始時期 – キャリア（人材紹介）



1. 柔道整復師、あん摩マッサージ師、はり師、きゅう師のこと

© SMS Co., Ltd.

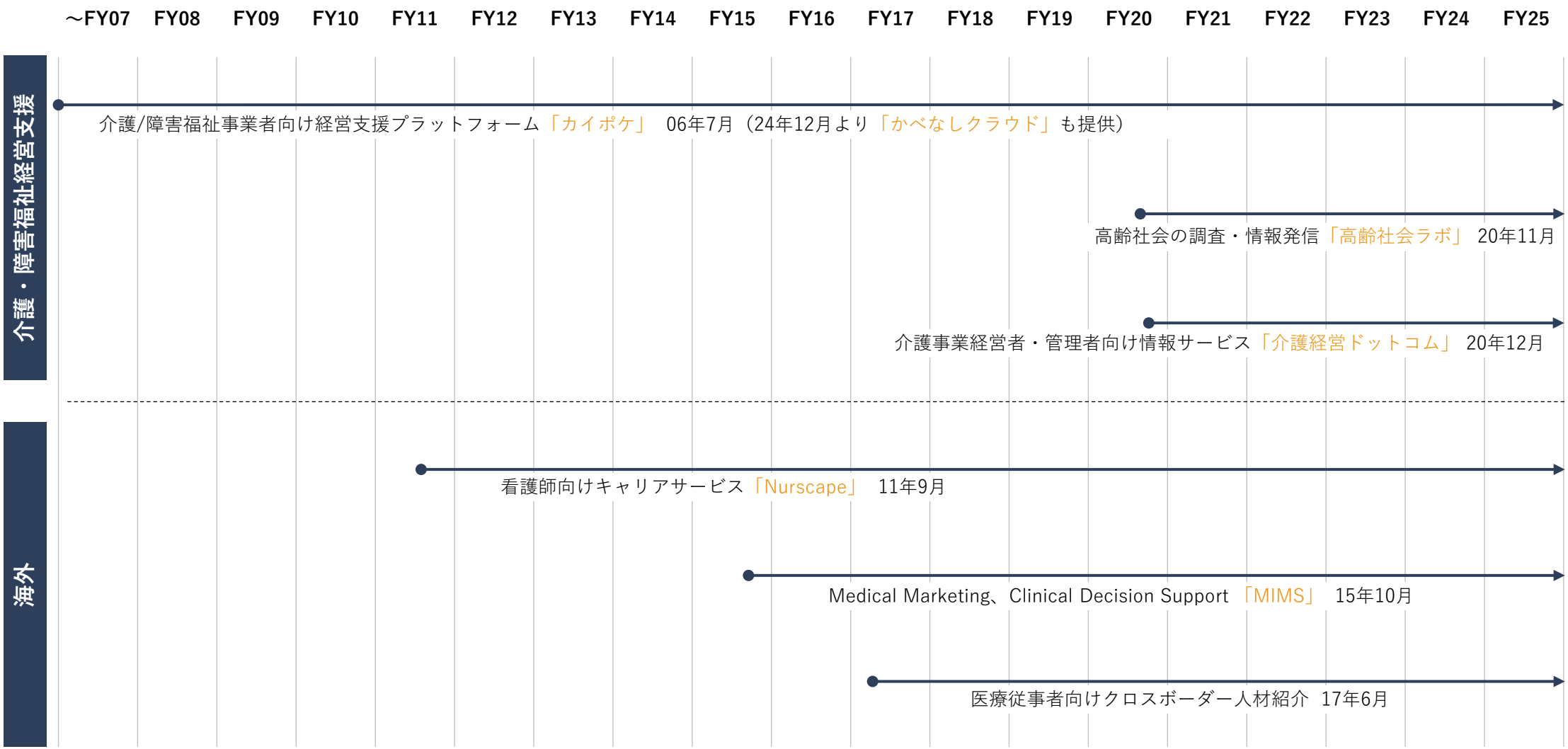
各サービスの開始時期 – キャリア（DR・その他）



1. 柔道整復師、あん摩マッサージ師、はり師、きゅう師のこと

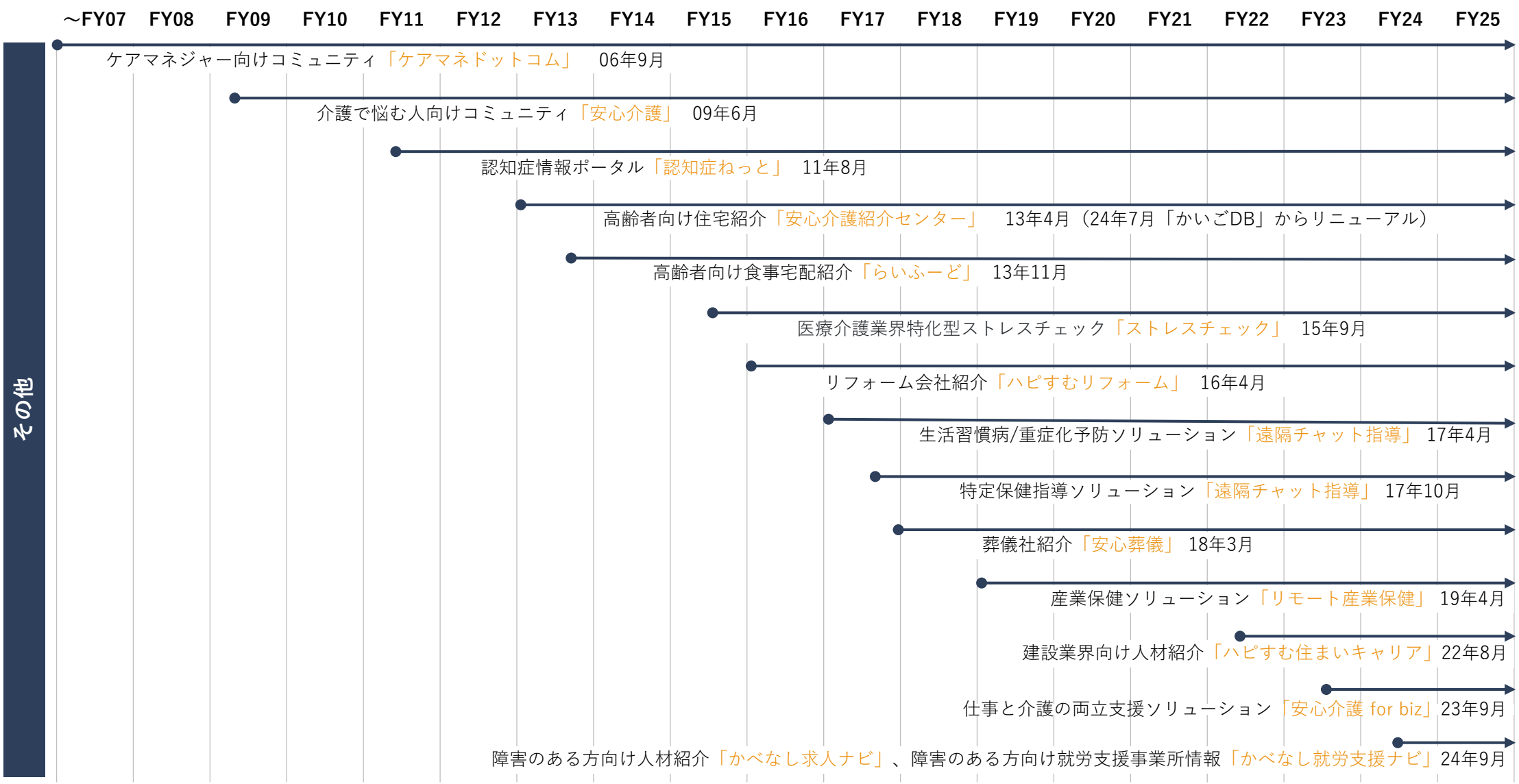
© SMS Co., Ltd.

各サービスの開始時期 – 介護・障害福祉経営支援、海外



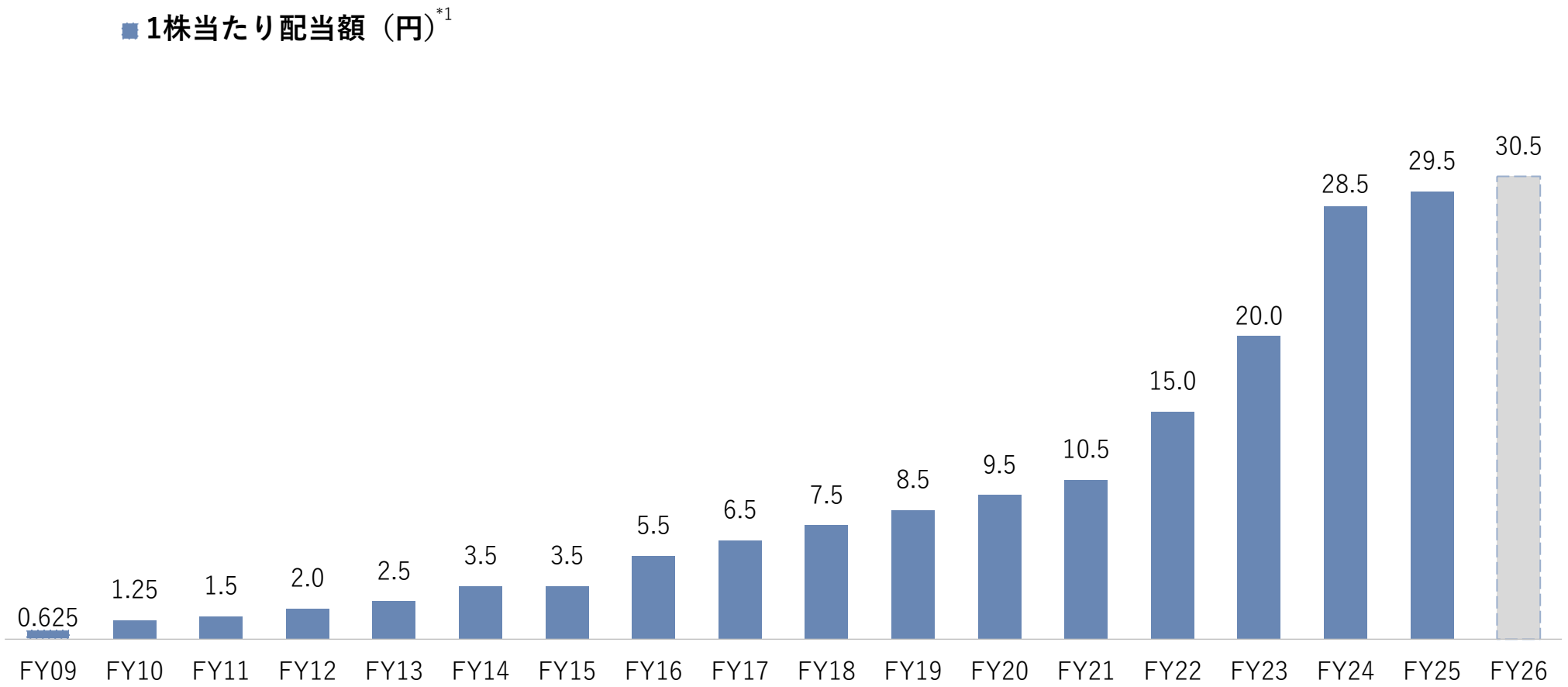
© SMS Co., Ltd.

各サービスの開始時期 –その他



© SMS Co., Ltd.

配当



1. 過去実施した株式分割を考慮した値で記載

© SMS Co., Ltd.

主要経営指標

（百万円）

	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期
売上高	19,069	23,054	26,611	30,836	35,140	35,960	38,899	45,667	53,973	60,952	64,735
EBITDA	3,740	5,163	5,729	6,612	6,956	7,656	8,801	10,260	11,835	10,273	11,406
営業利益	2,756	3,646	4,021	4,743	4,935	5,470	6,318	7,279	8,269	6,335	6,787
経常利益	3,509	4,430	5,007	5,979	6,355	6,653	7,726	8,759	9,901	8,357	8,721
当期純利益	2,265	2,801	3,361	4,216	4,760	4,800	5,408	6,406	7,227	6,054	△14,317
EPS[*1] (円)	27.9	33.7	38.7	48.5	54.7	55.1	62.1	73.5	83.0	71.0	△173.7
総資産	41,689	43,231	46,087	47,467	50,996	49,444	56,585	65,098	72,475	76,540	52,774
負債	28,532	21,648	22,446	31,928	31,597	26,785	26,594	26,677	28,190	29,221	26,050
純資産	13,157	21,583	23,641	15,539	19,398	22,658	29,991	38,421	44,284	47,319	26,724
自己資本比率(%)	20.5	39.6	41.8	32.4	37.7	45.3	52.4	58.3	60.7	61.5	50.2
ROE(%)	29.5	21.8	18.5	24.4	27.5	23.1	20.8	19.0	17.6	13.3	△38.9
1株配当[*1] (円)	3.5	5.5	6.5	7.5	8.5	9.5	10.5	15.0	20.0	28.5	29.5
配当性向 (%)	12.5	16.3	16.8	15.5	15.5	17.2	16.9	20.4	24.1	40.2	-
TSR[*1*2] (%)	1,150.3	1,057.5	682.8	402.3	263.6	317.8	243.5	143.2	132.6	57.8	51.7

1. 過去の株式分割を考慮した値で記載
2. （各事業年度末日の株価＋当事業年度の４事業年度前から各事業年度までの１株当たり配当額の累計額）／当事業年度の５事業年度前の末日の株価

© SMS Co., Ltd.

社員数及び株主構成

社員数

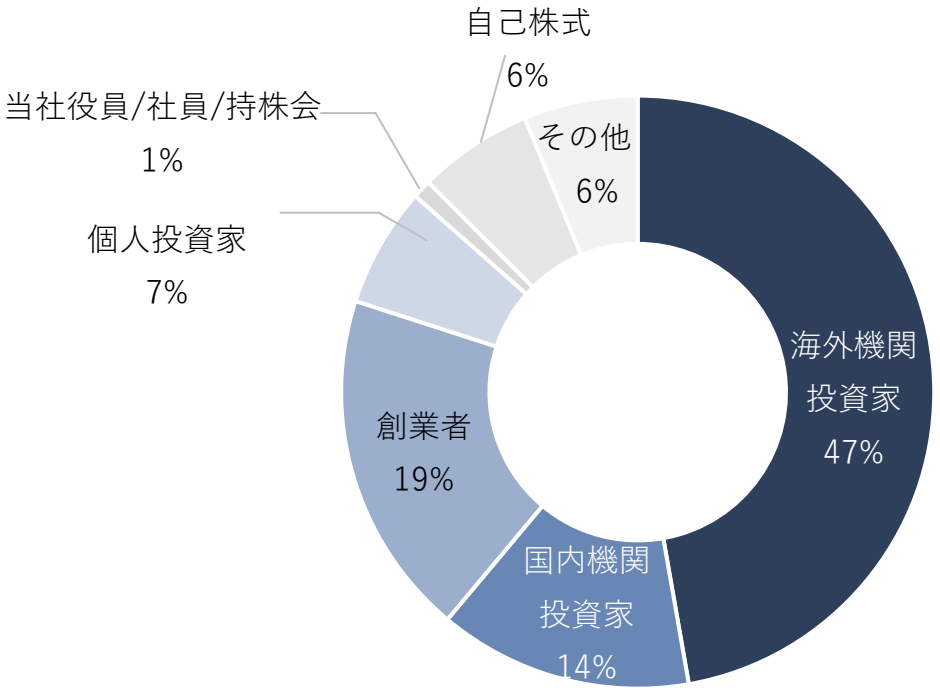
2026年6月30日時点：

区分	社員数
連結	4,921名
うち、国内	3,802名
うち、海外	1,119名

株主構成*1

2026年3月31日時点：

株主総数 8,642名



1. 円グラフは株数での比率を表示

© SMS Co., Ltd.

健康経営

健康経営に対する考え方

エス・エム・エスでは、企業理念の実現に向け、従業員が心身ともに健やかに働くことが重要であると考えており、また、ヘルスケア事業を運営する企業として、従業員一人ひとりが自らの健康に関する高い意識を持つことが、よりよいサービスを提供することにつながるものと考えています。2019年に健康宣言を行い、従業員の健康維持・増進と意識向上を推進するための組織体制を構築し、さまざまな取り組みを行っています。

健康経営の体制と仕組み

- 健康経営を推進するための専任組織として、社長直轄の健康推進室を設置し、健康経営に係る施策を企画・実行
- 常駐保健師による相談窓口を社内に設置し、産業医・健康保険組合と連携しながら、健康増進、リテラシー向上、メンタルヘルスサポート、各種相談など従業員の健康支援の取組を推進
- ヘルスケア事業の運営を通じて得た知見を、従業員の健康管理に関する各種施策に反映
- シニアライフ事業と連携し、従業員の仕事と介護の両立支援等の取組を推進
- 健康管理に関する課題や施策の状況について、衛生委員会にて従業員代表に情報共有を行い、経営会議等を通じて経営層へ報告し、それら会議での意見を健康経営の推進に活用

外部評価

経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に2020年より7年連続で認定

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

© SMS Co., Ltd.

本資料お取扱い上のご注意

本資料は株式会社エス・エム・エス(以下、当社)の事業について、当社による現在の予定、予想に基づいた将来展望についても言及しています。これらは2026年6月30日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成されたものであり、リスクや変動要因を多く含んでおります。従って将来展望と結果が著しく異なる可能性がありますので、当社はこれらの情報を正しいと約束することはできないことをご了承ください。また、当社はこれらの情報を更新し公表する責任を負いません。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社エス・エム・エス 経営管理本部 IR・リサーチ部

Email　：irinfo@bm-sms.co.jp

© SMS Co., Ltd.